

年報 令和6年度



目 次

I 館概要		
1 -設置目的（専門性・テーマ等）	1	オ T型フォード乗車会
2 沿革	1	カ たんけん!!科学館
3 千葉県立現代産業科学館の使命	2	キ クリスマスコンサート
4 運営の基本方針	3	ク クリスマス実験講座
5 産業教育の推進	3	(2) 学校教育支援
6 施設概要	4	ア 職場体験及びキャリア実習
7 管理運営	6	イ 博物館実習
		ウ 「授業に役立つ県立博物館」
		プロジェクト
		37
II 令和6年度事業報告		5 情報提供活動
1 利用状況	8	(1) 図書資料等の収集・提供
2 展示事業		(2) レファレンス活動
(1) 常設展示		(3) ホームページ
ア 展示	9	(4) 広報活動
イ 演示実験	10	(5) メールマガジン
(2) 企画展示		(6) SNS等による情報発信
企画展「プラネタリウム上映会」	10	39
(3) 企画展示		6 連携・協力事業
企画展「見る」	11	(1) 展示・運営協力会
(4) エントランス展示	15	(2) ボランティア
(5) 特設コーナー	17	(3) 地域連携等事業
(6) ワークショップ	19	ア 教育機関・学校等
(7) サイエンスドームギャラリー	19	イ NPO法人
(8) 展示解説	21	ウ 地域企業等
3 調査研究事業		48
(1) 調査研究	22	エ 諸機関
(2) 産業技術調査		51
(伝えたい千葉の産業技術100選)	22	7 開館30周年記念事業
(3) 収集保存活動	23	(1) 記念展示
4 教育普及事業		(2) 記念イベント
(1) 事業実施状況	24	(3) 記念セレモニー
ア 科学館わくわく教室	32	53
イ クラシックカー・スポーツカー		8 その他
in 科学館	32	(1) サイエンスドームの利用状況
ウ 出張講座	33	(2) 県下水道課「マンホールカード」配布協力
エ 公開講座	35	54
		54
		55
		56
		56
III 資料		
		入館状況
		団体内訳
		区分内訳

表紙図 左：企画展「見る」ポスター

右：「令和6年度プラネタリウム上映会」ポスター

I 館概要

1 設置目的(専門性・テーマ等)

科学の目覚ましい進歩に伴って産業は著しく発展し、私たちの生活は大きく向上してきた。

これらの産業を支える科学技術はますます重要となり、人間社会に対する直接的な影響を強める一方、その理解は複雑で難しいものとなっている。

そこで、千葉県立現代産業科学館は、子どもから大人までだれもが産業に応用された科学技術を体験的に学ぶことができる場を提供することを目的として設置された。

2 沿革

年 月 日	事 項
昭和 56 (1981) 年	千葉県第2次新総合5カ年計画に「千葉県立現代産業科学館(仮称)の設置」が盛り込まれる。
昭和 63 (1988) 年	市川市から県へ建築用地が寄付される。
平成元 (1989) 年	設置準備委員会での検討を経て基本構想を策定する。 展示の設計協議を行い、展示基本計画を策定する。
平成 2 (1990) 年	展示基本設計を作成する。 建築基本・実施設計を作成する。
平成 3 (1991) 年	展示実施設計を作成する。 杭打工事、建築本体工事に着工する。
平成 4 (1992) 年	展示工事に着工する。
平成 5 (1993) 年 6 月 30 日	外構工事に着工する。 建築工事が竣工する。
平成 6 (1994) 年 1 月 31 日 4 月 1 日 6 月 15 日	展示工事が竣工する。 機関設置される。 開館する。初代館長青木國夫就任
平成 8 (1996) 年 3 月 2 日	入館者 50 万人
平成 9 (1997) 年 4 月 1 日 8 月 28 日	2 代目館長岡田厚正就任 入館者 100 万人
平成 11 (1999) 年 3 月 25 日	入館者 150 万人
平成 12 (2000) 年 4 月 1 日 8 月 15 日	3 代目館長檜垣義明就任 入館者 200 万人
平成 14 (2002) 年 2 月 11 日 4 月 1 日	入館者 250 万人 4 代目館長須田繁就任
平成 15 (2003) 年 4 月 1 日 7 月 13 日	5 代目館長鈴木道之助就任 入館者 300 万人
平成 16 (2004) 年 4 月 1 日	6 代目館長山田秀一就任
平成 17 (2005) 年 10 月 28 日	入館者 350 万人
平成 18 (2006) 年 4 月 1 日	7 代目館長佐久間文孝就任

平成 20 (2008) 年	8 月 26 日	入館者 400 万人
平成 21 (2009) 年	4 月 1 日	8 代目館長府川雅司就任
平成 22 (2010) 年	4 月 1 日	9 代目館長石井暁就任
平成 25 (2013) 年	4 月 1 日	10 代目館長鈴木清史就任
平成 26 (2014) 年	4 月 1 日	11 代目館長小野祐司就任
	8 月 26 日	入館者 500 万人
平成 28 (2016) 年	4 月 1 日	12 代目館長平賀洋一就任
平成 30 (2018) 年	4 月 1 日	13 代目館長上田敏彦就任
平成 31 (2019) 年	4 月 1 日	14 代目館長矢島義文就任
令和 2 (2020) 年	4 月 1 日	15 代目館長永島謙就任
令和 3 (2021) 年	4 月 1 日	16 代目館長鈴木輝人就任
令和 4 (2022) 年	4 月 1 日	17 代目館長田中文昭就任
	8 月 3 日	入館者 600 万人
令和 5 (2023) 年	4 月 1 日	18 代目館長藤田豊就任
令和 6 (2024) 年	4 月 1 日	19 代目館長尾崎和夫就任
	6 月 23 日	開館 30 周年記念セレモニー

3 千葉県立現代産業科学館の使命

千葉県立現代産業科学館は、科学技術の調和ある発展と、人類社会の未来の可能性を信じて様々な活動を展開し、幅広い県民の集う博物館を目指します。

- (1) 鉄鋼、石油、電力など本県工業の基幹をなす産業と、先端技術産業等に応用された科学技術について、博物館の視点で調査・研究するとともに、適正な評価基準により資料を収集・保存・展示し、次の世代に託します。
- (2) 工場プラントなど大型の設備や建造物について、画像などによる記録保存に努めるとともに、工業歴史資料調査を継続して実施し、本県の産業に関わる歴史的資料の保存に留意しながら、その情報を県民と共有し必要に応じて県内外に発信します。
- (3) 私たちは工業製品に囲まれていながら、その基本となる科学技術について十分理解しているとはいえないません。子どもから大人まで体験できる展示・演示実験・各種教育普及事業等を通じて、科学技術や文化に親しむ場を目指します。
- (4) 県立博物館として高い専門性と幅広い活動を維持し、地域の各種団体との親和に留意するとともに、産業界、学校教育、NPO 法人等組織との連携を密にして県民のニーズに応えます。

4 運営の基本方針

(1) 展示活動

ア 展示活動

展示解説やミニイベント等、人と人の対話を重視した積極的な展示室の運営と、時代の変化に即した展示更新や組み替えを行う。

イ イベント活動

展示をよりわかりやすく興味深いものとするため、テーマを決めて解説するイベントを実施する。常設展示では扱うことの困難な最新の産業技術や科学技術についても、県民に親しみやすく魅力のあるイベントとして実施する。

(2) 調査研究活動

ア 調査研究活動

展示活動や教育普及活動に生かすため、産業に応用された科学技術や科学技術と人間とのかかわりに関する調査研究を行う。

イ 収集・保存活動

博物館活動の推進及び県民の多様な要望に的確に対応できるよう、博物館資料を整理・保存し、維持管理する。

(3) 教育普及活動

ア 教育普及活動

主として館の施設を用い、参加対象者に応じた科学技術や産業技術に関する教育活動を企画・運営する。

イ 館外普及活動

館の活動基盤を広げるため、関係機関との情報交換や人的交流を行うとともに、県民の科学教育活動への支援及び広報活動を行う。

(4) 情報提供活動

科学技術や産業技術に関する情報の発信源として、初步的な要求から専門的な要求にまで対応できるよう、情報の収集・整理・提供を行う。

5 産業教育の推進

当館は、現代産業を冠する科学館として、単なる科学館ではない新しい社会教育機関、つまり、「既存の科学館機能を生かしながら産業教育や職業教育を未就学児から総合的に行い、関係機関と連携し、職業選択、就学、就職の具体化を支援する、仕事と学校をつなぐ社会教育機関」を目指している。産業教育というと職業訓練と混同されがちであるが、専門の産業教育機関や職業訓練機関、県内の1次・2次産業に向かう出発点となって「人の流れを作ること」が当館の役割である。そのため、未就学児や小学校低学年からの働きかけを行っている。

(1) 興味の喚起

たくさんの仕事があることを幼少期から知っていることは、単に職業の選択肢の幅を広げるだけではなく、進路を明確に定めた目的をもった就学が可能になる。そこで「職育」と称して、いろいろな仕事やそこで働く人々の姿、その仕事に就くための学校を紹介することで、主たる来館者である未就学児や小学生の「ものづくり」に対する興味を喚起し、将来、ものづくりに携わるきっかけを提供する。

(2) 興味や理解の促進

中学生とその保護者には、より具体的な情報の提供や体験をとおして、製造業や技術系の教育機関、県内産業への興味や理解を促進し、職業としてものづくりに携わる意識の醸成と進路の明確化を支援する。

（3）進路の具体化

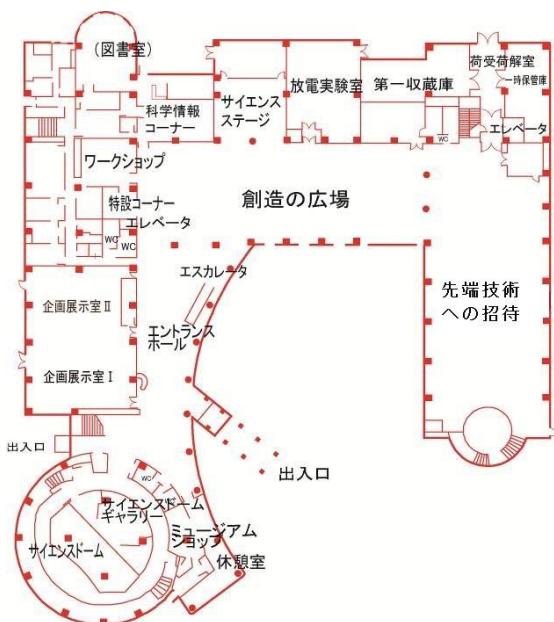
高校生とその保護者には、当館の展示・運営協力会や工業系高校人材育成コンソーシアム千葉などの産業教育や職業教育に関連した組織と連携しながら、高度な研究者や技術者を目指す意識の醸成と進路の具体化を支援する。

（4）不登校の児童や生徒への働きかけ

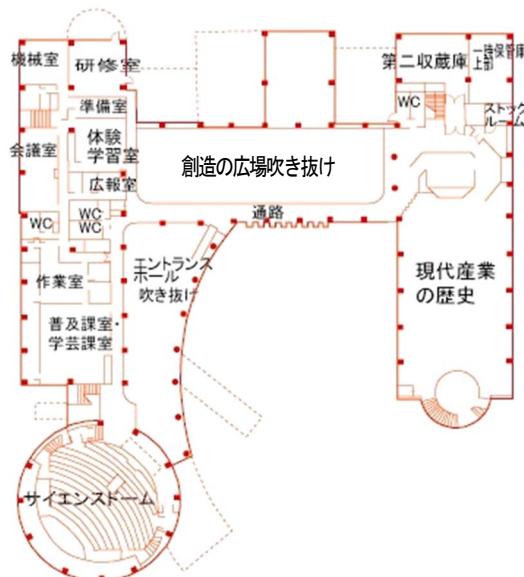
市川市適応指導教室等との連携による工作教室や体験をとおして、ものづくりへの興味や理解を促進する。併せて技術系の教育機関や県内産業を紹介し、「たくさんの仕事と居場所」があることを不登校の児童や生徒とその保護者に提示することで、次のステップへのきっかけを提供する。

6 施設概要

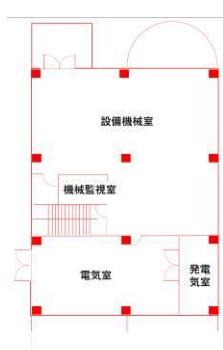
(1) 1階平面図



(2) 2階平面図



(3) 地下1階平面図



(4) 各室面積表

	名 称	面積(m ²) (m ²)		名 称	面積(m ²) (m ²)
展 示	現代産業の歴史	1,223.06		館長室	22.22
	創造の広場	1,374.72		副館長室	23.79
	先端技術への招待	930.64		応接室	25.04
	企画展示室Ⅰ	191.32		庶務課室	57.59
	企画展示室Ⅱ	239.90		会議室	93.08
	特設コーナー	29.40		印刷室	13.99
	小 計	3,989.04		機械監視室	15.00
教育普及	研修室	90.97		職員用トイレ	40.52
	ワークショップ	91.66		書庫(資料室)	11.79
	体験学習室	123.67		小 計	303.02
	広報室	26.48		研究	普及課室・学芸課室 173.70
	科学情報コーナー	321.34			作業室 77.73
	内 訳	図書室	106.06		資料室 13.30
		書庫	36.12		原材料室 12.25
		情報提供室	106.44		暗室 10.92
		撮影スタジオ	23.60		小 計 287.90
		AV機械室	9.73		
		アナウンスブース	4.72	サイエンスドーム	サイエンスドーム 452.98
		情報制作室	34.67		ドームギャラリー 64.40
		小 計	654.12		予備室 18.79
収 藏	収蔵庫(1)	141.29			事務室 17.29
	収蔵庫(2)	121.22			コントロールブース 22.72
	荷受・荷解室	50.85			小 計 576.18
	一時保管庫	97.60			
	E V前室	14.70		設備・その他の	機械室 526.22
	小 計	425.66			救護室 11.48
サービス	エントランスホール	459.30			更衣室(1) 9.49
	休憩室	89.96			更衣室(2) 9.34
	ミュージアムショップ	37.45			警備員室 14.40
	倉庫	5.86			管理員室 14.42
	トイレ	3.45			宿泊室 13.57
	予備室	17.40			浴室 9.66
	ロッカールーム	7.28			給湯室(1)(2) 8.47
	小 計	620.70			トイレ 140.56
					その他共用部分 878.38
					小 計 1,635.99

(5) 建築等の概要

建物名称	千葉県立現代産業科学館
所在地	千葉県市川市鬼高1丁目1番3号
地域地区	商業区域・防火地域
用途	博物館
敷地面積	18,181.85 m ²
建築面積	5,150.14 m ²
延床面積	8,492.61 m ²

※ 鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階

(6) 総工費

7,876,674千円

(7) 工事関係者

ア 設計

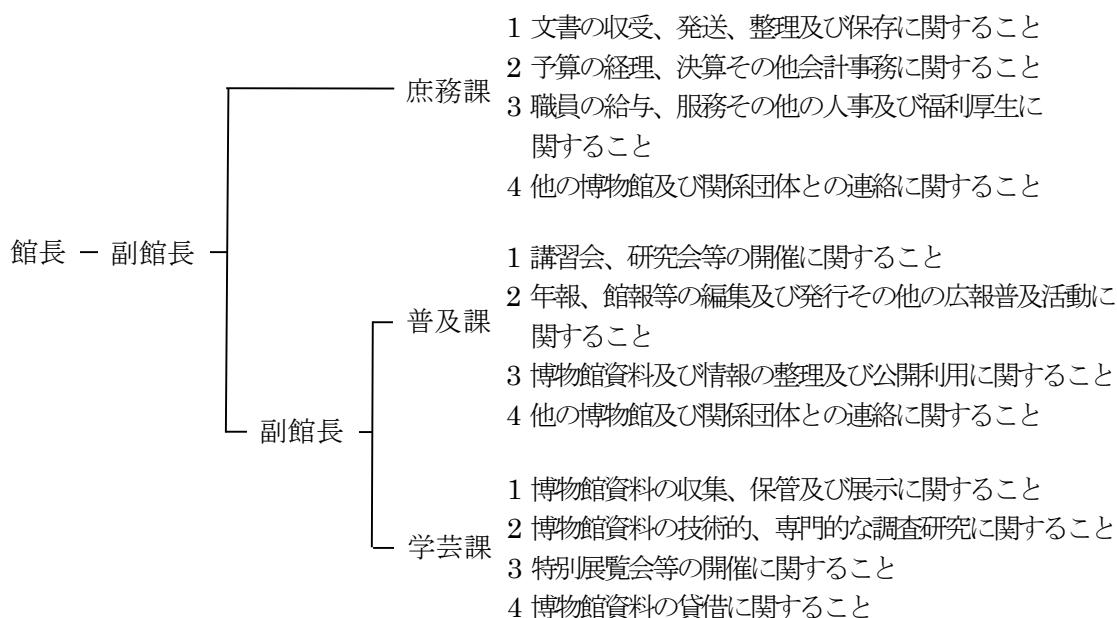
建築・設備	株式会社石本建築事務所
外構・植栽	株式会社石本建築事務所
展示	株式会社トータルメディア開発研究所

イ 施工

建築	竹中・大城特定建設工事共同企業体
電気設備	川鉄電設・興電社特定建設工事共同企業体
空気調和設備工事	一工・セントラル特定建設工事共同企業体
給排水衛生設備工事	第一工業株式会社
ガス設備工事	京葉瓦斯株式会社
外構土木工事	株式会社竹中工務店
外構植栽工事	岡本植木株式会社
展示工事	株式会社トータルメディア開発研究所

7 管理運営

(1) 組織及び分掌



(2) 職員及び職員構成

館 長	尾崎 和夫
副 館 長	守永 典幹
副 館 長	植野 百代

【庶務課】

庶務課長	守永 典幹
副主幹	新井 浩
副主査	青柳遼太郎
主 事	小島遼太郎
主事(臨任)	村川 司
会計年度任用職員	徳永由加子
会計年度任用職員	藤崎 郁子

【学芸課】

学芸課長	堀内 裕子
主任上席研究員	山崎恵美子
主任上席研究員	小笠原 淳
主任上席研究員	鈴木 淳一
上席研究員	齋藤 純徳
上席研究員	河野隆一郎
上席研究員	長谷部 徹
上席研究員	佐保 憲範
会計年度任用職員	山口はるか

【普及課】

普及課長	森 恭一
主任上席研究員	渋谷さゆり
上席研究員	野口 仁志
上席研究員	相木 康岳
上席研究員	重黒木 誠
上席研究員	葭葉 彩子
研究員	井上翔太郎
研究員	山口 友樹

主任技術員	小島 邦夫
	川添 茂
	齊藤 敏明
	太田 秀人
	岩下 裕昭
	都築 茂

展示解説員	平沼 由佳(~R7.1.31)
	宮嶋 祐子
	中沢 舞子
	坂本枝美里(R7.2.1~)

(3) 職員の配置状況

区分	行政職	研究職	小計	会計年度任用職員					合計
				管理等業務	使用料徴収業務	各業務補助	展示解説員	主任技術員	
人数(人)	7	16	23	1	1	1	3	6	35

II 令和6年度事業報告

1 利用状況

		令和6年4月～令和7年3月													
		累計		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日数		304		25	27	26	28	24	27	26	23	23	23	26	
入場者		144,004		8,208	9,672	12,207	11,962	23,173	17,987	9,999	10,592	6,178	8,250	11,018	14,758
有料入場者		36,077		2,075	2,367	2,897	3,242	9,029	3,340	1,770	2,170	1,259	2,011	3,082	2,835
無料入場者		107,927		6,133	7,305	9,310	8,720	14,144	14,647	8,229	8,422	4,919	6,239	7,936	11,923
計		130,413		8,106	9,195	10,883	11,038	22,762	16,018	7,001	8,547	4,991	7,345	10,515	14,012
有料		35,206		2,075	2,314	2,771	3,195	8,970	3,220	1,681	2,088	1,172	1,979	3,029	2,712
一般・成人		34,149		2,025	2,250	2,719	3,124	8,529	3,163	1,624	2,049	1,124	1,944	2,959	2,639
高・大学生		1,057		50	64	52	71	441	57	57	39	48	35	70	73
計		95,207		6,031	6,881	8,112	7,843	13,792	12,798	5,320	6,459	3,819	5,366	7,486	11,300
一般・成人		59,717		3,739	4,775	4,900	4,475	5,655	9,750	3,537	4,234	2,533	3,345	4,695	8,079
高・大学生		4		0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1
中学生以下		35,486		2,292	2,106	3,212	3,368	8,137	3,048	1,783	2,223	1,286	2,021	2,790	3,220
計		13,591		102	477	1,324	924	411	1,969	2,998	2,045	1,187	905	503	746
有料		871		0	53	126	47	59	120	89	82	87	32	53	123
一般・成人		767		0	53	95	47	57	52	89	82	87	32	53	120
高・大学生		104		0	0	31	0	2	68	0	0	0	0	0	3
団体		12,720		102	424	1,198	877	352	1,849	2,909	1,963	1,100	873	450	623
無料		1,949		94	55	200	184	127	188	319	312	79	165	108	118
一般・成人		46		0	25	15	0	0	2	0	4	0	0	0	0
高・大学生		10,725		8	344	983	693	225	1,659	2,590	1,647	1,021	708	342	505
中学生以下		322		6	12	36	35	21	42	44	44	20	22	17	23
団体数		421		9	48	69	44	24	65	61	20	28	16	15	22
外国人数(内数)		12,631,390		628,000	708,620	876,720	982,930	3,809,750	999,790	751,140	1,063,950	421,380	612,380	924,070	852,660
入場料収入額															

2 展示事業

(1) 常設展示

ア 展示

(ア) エントランスホール

チケットカウンターを境に無料と有料のゾーンに分かれる。無料ゾーンでは、「伝えたい千葉の産業技術 100 選」をはじめ、県立高校との連携展示や各種パネル展示を行っている。有料ゾーンでは、当館のシンボルであるタービンローターを展示しているほか、太陽電池や収蔵資料の展示、県立高校・県内機関等との連携事業の展示などを行っている。エスカレーター下のスペースは、主に休憩コーナーとして使用しており、団体用の昼食スペース及び企画展関連のイベント用スペースとしても利用している。

(イ) 現代産業の歴史

千葉県の基幹産業である鉄鋼産業・石油産業・電力産業の発展の歴史と現代の技術に関する展示を通して、科学技術と人との関わりについて紹介している。本県における鉄鋼業の記念碑的存在の『川崎製鉄千葉 1 号高炉』模型をはじめ、『1913 年型 T 型フォード』実物、世界初の電車である『ジーメンスの電車』実物大模型等の展示物がある。

(ウ) 先端技術への招待

さまざまな分野で応用されている技術やそれらが私たちの生活や産業社会をどのように変化させていったのかを紹介している。展示は主に、レーザー加工機や液体窒素製造装置等の「先端技術を支える技術」、光ファイバーやスーパー・カミオカンデ・イベントディスプレイ等の「エレクトロニクス」、セラミックスや機能性高分子等の「新素材」、DNA 二重らせん構造模型や iPS 細胞等の「バイオテクノロジー・バイオミティクス」、太陽光発電やデジタル地球儀等の「先端技術と地球環境」の 5 分野で構成されている。さらに、実験シアターや実験カウンター、パソコン体験コーナーなどがある。

今年度は「千葉ものづくり認定製品」、「e-hope」など展示の新規追加を行った。また、ダジックアースを体験型展示と鑑賞型展示の交互で展示をするなど、従来の展示についても更新した。

(エ) 創造の広場

参加・体験型の展示によって、身近な科学現象の不思議さや美しさを体験できる広場であり、利用者自身で操作ができる展示物が多数設置されている。また、雷放電を実演する「放電実験室」や、世界を変えた発明・発見について人形劇や科学実験で紹介している「サイエンスステージ」も併設されている。

昨年度に新型コロナウイルス感染症の位置付けが 5 類に移行したことを踏まえ、今年度は、年度当初からすべての展示物が体験可能となっている。

(オ) 科学情報コーナー

宇宙関連事業を紹介する「宇宙コーナー」と、国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) の研究開発と業務の内容を紹介する「時空コーナー」が設置されている。

時空コーナーでは、NICT から借用した「ルビジウム原子時計」等の展示、映像資料とパネルで NICT の最新の取り組みが紹介されている。

宇宙コーナーでは国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA) と一般財団法人日本宇宙フォーラムとの共同事業である科学館/文化施設向け情報提供事業『Space i』から提供される資料を中心に展示した。資料は郵送や配信メールによるダウンロードにて受け取り、解説パネルを年間にわたり随時更新した。

イ 演示実験

(ア) 実験シアター

高度で専門的な先端技術を支えている極限環境の世界に触れる目的として、演示実験を行っている。内容は、液体窒素を使用した実験を中心に、超低温(約-196℃)での物質の凍結、気体の液化・固化、超電導現象に関する実験等を行っている。

今年度は1日3回実施し、すべての参加者数は19,117人であった。

(イ) 実験カウンター

身近な物理現象や様々な素材がもつ性質について説明するために、目の前で実験を実施することや、参加者が実験し体験することを目的としている。座席数は6席で、最大20人程度まで見学することができる。実験のプログラムは、光と色のふしげ、圧気発火実験、スターリングエンジン等の19種類が用意されている。

過去、新型コロナウイルス感染症等関係で実施に際し影響があったが、今年度は年間を通して実施できた。1日3回実施し、すべての参加者は9,592人であった。

(ウ) 放電実験

雷の性質と電力産業の送電系における避雷について、実験を交えて紹介している。実験の内容は、高電圧発生装置により、円弧状で炎のような放電現象が起こる「アーク放電実験」、ガラス表面に放射状の放電が起こる「沿面放電実験」、送電鉄塔の模型や送電鉄塔の「ガイシ」の実物に落雷させる「雷放電実験」がある。

今年度は、1日4回の実験を実施し、各回の定員数を90人とした。

演示実験の実施回数は、1,216回、参加者数は、31,961人であった。

(エ) サイエンスステージ

産業の基礎となった科学技術を楽しくわかりやすく紹介する劇場仕立てのステージである。演目には実験を交えた「楽しい科学実験」と「人形劇」がある。また、夏季休暇期間には展示・運営協力会の外部講師による「サイエンスショー」を行っている。

実験・人形劇とともに年間を通して1日4回、午前2回・午後2回をそれぞれ同じ演目で実施した。

演示実験の実施回数は「楽しい科学実験」が976回、参加者数は21,755人、「人形劇」は240回、参加者数は13,938人であった。

(2) 企画展示

プラネタリウム上映会「あなたの好きな星空を見つけに来ませんか？」

ア 開催期間：令和6年8月9日(金)～8月29日(木) (開催日数20日間)

イ 場 所：サイエンスドーム

ウ 鑑賞者数：12,108人

エ 趣 旨：今年度は以前に上映した3作品を令和6年度企画展(プラネタリウム上映会)として開催した。大平技研には、過去の作品であるが一部にリメイクを加えてもらった。最新鋭のシステムにより大規模で高精細な星空を再現するとともに、その素晴らしさを実感してもらうために、サイエンスドームにおいて、プラネタリウム上映会及び上映解説会を開催した。また、前年度まで利用していた事前座席予約システムを拡張し、有料入場者には事前決済ができるようにして運営を行った。

オ 構 成：企画展として、大平貴之氏が開発した光学式プラネタリウム投影機と4Kプロジェクター17台を駆使した技術MEGASTAR-FUSIONシステムによるプラネタリウム上映会を開催した。大平氏による上映解説会を2日間(1日2回)実施する予定であったが、台風の接近に伴い、初日の午前中に行う予定であった1回分を中止とした。

(ア) 上映時間

- ① 9:45～10:15 ② 11:00～11:30
- ③ 13:15～13:45 ④ 14:30～15:00 ⑤ 15:45～16:15

(イ) 上演番組

- ① 千葉の星めぐり - 150 年の歩みとこれから -
- ② 星のある風景-旅-
- ③ Ancient Stars -50 万年前の星空-

(ウ) 上映日程

8月9日（金）～18日（日）

- ① 星のある風景-旅-
- ② 千葉の星めぐり - 150 年の歩みとこれから -
- ③ Ancient Stars -50 万年前の星空-
- ④ 星のある風景-旅-
- ⑤ 千葉の星めぐり - 150 年の歩みとこれから -

8月20日（火）～29日（木）

- ① Ancient Stars -50 万年前の星空-
- ② 千葉の星めぐり - 150 年の歩みとこれから -
- ③ 星のある風景-旅-
- ④ Ancient Stars -50 万年前の星空-
- ⑤ 千葉の星めぐり - 150 年の歩みとこれから -

(エ) 上映解説会

プラネタリウムクリエーター 大平貴之氏

8月17日（土）、18日（日）②⑤回目に実施

※17日（土）は台風の接近に伴い、午前中の上映会を中止したため⑤のみ実施
上映解説会参加者数 666 人

(オ) 内覧会

8月7日（水） 大平貴之氏 解説

(3) 企画展示

開館30周年記念 令和6年度企画展「見る—生き物の目・機械の目—」

ア 開催期間：令和6年10月12日（土）～12月1日（日）（開催日数44日間）

イ 場 所：企画展示室、エントランスホール、サイエンスドームギャラリー、特設コーナー

ウ 入場者数：12,967人

エ 趣 旨：生物の視覚システムは、膨大な情報を取捨選択し、補完しながら見える世界を認識する非常に優れたシステムである。私たち人間はその「見る」ということを、ほとんど意識することなく行っている。一方で、機械の視覚システムも驚くべきスピードで進化しており、カメラや情報を処理する技術の向上、さらにはAIが登場したことにより、機械がまるで人のように情報を取捨選択し、補完された世界を容易に見ることができる。今回の企画展では、様々な条件での人の見え方や人以外の生き物の見え方のほか、電子顕微鏡・高速度カメラなど、人の目では見ることのできない機械の視覚技術にも焦点を充ててみた。また、人の目と機械・AIが共に共存し、認識する新たな見せ方を取り上げることで、子供から大人まで、誰もが見る世界の多様性や奥深さについて楽しく学び、理解を深めるきっかけとなるよう工夫した。

才 展示内容・構成

(ア) 単元1 立体錯視を見る

脳は、立体物を見る際に奥行きの情報を自動的に補完し、推測して認識している。人はこれを意識することなく行っているため、普段の生活では実感することができない。そこで目の前にある物体と、鏡に映っている物体の見え方が違うという立体錯視の世界を体感できる展示により、普段意識することなく行っている「見る」という行動を改めて意識してもらう展示とした。

a 展示資料

「家族四人」立体錯視 等 計 22 点

(イ) 単元2 生き物の目

多様な生き物の優れた「見る」能力を紹介する。人間の「見る」能力では、伝統工芸品を制作する職人の見る技術、見えにくい人の「見る」世界について触れる。また、海の生き物が見ている海の世界も体験してもらうとともに、あさりの巨大断面図を観察して体内の仕組み等を理解する。

a 展示資料

イカの見える世界 偏光モニター（イカの偏光モニター）等 計 22 点

(ウ) 単元3 機械の目

科学の発展によって進歩したミクロの世界を探究する技術を紹介した。産業や研究の現場で使われている顕微鏡や高速度カメラに焦点を当て、機械の視覚システムによる見え方の違いなどを体験してもらう。実物資料や映像を使い体験し、科学の発展によって進歩したミクロの世界を探究する技術を実感する。

a 展示資料

フローティングタッチディスプレイ 等 計 6 点

(エ) 単元4 未来を見る

災害救助の現場で人と機械と AI が視覚を共有するシステムや、3D ホログラムによって自分の書いた絵が浮き出るシステムなど、最先端の技術を紹介し、未来の「見え方」の可能性を知ってもらう場とした。また、NTT コノキューとコラボレーションをすることで、企画展の事前、期間中、事後でも楽しんでもらえる機会を設けた。

a 展示資料

STAION (AI カメラ) 等 計 11 点

力 関連行事

(ア) 目の不自由な人の見え方を体験しよう

障害者など多様なリードユーザーとの共創からイノベーションを創出することを目的とし、PLAYWORKS が実践しているインクルーシブデザインについて紹介をするとともに、実際に目の不自由な方の見え方を体験した。アイマスクをして机上に置いてあるものを手の感覚（大きさ、触感、形等）から想像したり、実際に全盲の方と触れ合つたりしながら、目の不自由な人に企画展示室に誘導、展示内容をするなど様々な角度から目の不自由な人の見え方を体験した。

a 日 時：令和6年10月19日（土）

10:30～12:00 / 13:00～14:30 / 14:30～16:00

b 場 所：企画展示室、研修室

c 講 師：PLAYWORKS 株式会社タキザワケイタ氏 他3名

d 対 象：不問

e 定 員：各回3組

f 参 加 費：50円（保険料）

g 参加者数：9組19人

(イ) 三者連携事業「おにたかとらい」読み聞かせ 「見る」っていろいろ

地域住民の企画展への期待感を高めたり、理解を深めたりするとともに、企画展広報の一助とすることを目的として、市川市生涯学習センター職員が「見る」に関連する絵本の読み聞かせを実施した。読み聞かせ後、当館職員によるビー玉顕微鏡の体験を実施したり、希望者には科学館に移動して展示を見学させたりすることで理解をさらに深めた。

- a 日 時：令和6年10月19日（土）14:30～15:00
- b 場 所：市川市中央図書館（こどもとしょかん）
- c 講 師：市川市生涯学習センター職員（読み聞かせ）、普及課職員（ビー玉顕微鏡）
- d 対 象：不問
- e 定 員：先着40人
- f 参 加 費：無料
- g 参加者数：27人

(ウ) タカラガイの中を覗いて見よう

東京大学大気海洋研究所が大学の一般公開等で行っているイベントと同じ内容で、タカラガイの3D模型作成を実施した。タカラガイがどのような生き物かの説明をしたり、2択クイズを出題したりしながら参加者の理解を深めた。また、3D模型を作成することで、タカラガイの内部構造が観察でき、自分の目で貝が巻いている様子を見ることができるものであった。

- a 日 時：令和6年11月9日（土）10:30～ / 11:40～ / 13:40～ / 14:50～
- b 場 所：体験学習室
- c 講 師：東京大学大気海洋研究所 2名
- d 対 象：3歳～中学3年生
- e 定 員：各回24人
- f 参 加 費：50円（保険料）
- g 参加者数：70人

(エ) ふしぎ体験！立体錯視アートの世界

さわやかしば県民プラザが例年主催しているしば子ども大学は、例年講師に明治大学研究特別教授杉原厚吉氏を迎えて実施している。開催地域の拡充を目的とし、今年度は同氏から協力を得ていることもあり、当館を会場として開催することとなった。

2時間という体験時間ではあったが、講師の話を熱心に聞きながら錯視のしくみを理解するとともに錯視工作を楽しんだ。また、企画展示室に展示している講師の作品に触れ、錯視の世界を楽しんだ。

- a 開 催 日：令和6年11月16日（土）10:00～12:00
- b 場 所：企画展示室、研修室
- c 講 師：明治大学研究特別教授 杉原厚吉 氏
- d 対 象：小学4年生～中学3年生
- e 定 員：35人
- f 参 加 費：無料
- g 参加者数：30人

(オ) 千葉県立現代産業科学館 展示・運営協力会講演会 「生活の中の錯視」

展示・運営協力会講演会主催による講演会を5年ぶりに開催した。

様々な生活のなかの錯視を紹介しながら、安全な生活のために何を注意すべきかを考える機会とした。

- a 日 時：令和6年11月16日（土）13:30～
- b 場 所：サイエンスドーム
- c 講 師：明治大学研究特別教授 杉原厚吉 氏

- d 対 象：不問
- e 定 員：200 人
- f 参 加 費：無料
- g 参加者数：107 人

(カ) スーパースローで世界を見てみよう

株式会社浅沼商会の協力により、1 秒間に 600 コマで撮影できる高速度カメラを使用して様々な動きを撮影した後、スーパースローで再生して観察する体験を実施した。柔らかいボールが落下して変形する様子や、水を入れたビーカーの中で回転するビーズの動きなどを観察し、普段肉眼では見ることのできない映像に驚いていた。また、参加者自身が顔を左右に動かした際の皮膚の動きなど、スーパースローでしか見ることができない世界を体験することができた。

a 日 時：令和 6 年 11 月 22 日（金）～ 24（日）

10:00～12:00 / 13:30～15:30

b 場 所：企画展示室

c 講 師：当館職員

d 対 象：不問

e 参 加 費：無料

f 参加者数：614 人

キ 展示協力者

明治大学研究特別教授 杉原 厚吉

福井県立大学客員教授 芝原 晓彦、宮川峻一

株式会社浅沼商会

株式会社 NTT コノキュー

株式会社学研ステイフル

カシオ計算機株式会社

有限会社柏ビーズ

X-Gate 株式会社

株式会社杉ラボ

ソフトバンク株式会社

株式会社電通

東京電力エナジーパートナー株式会社

株式会社パリティ・イノベーションズ

株式会社日立ハイテ

PLAYWORKS 株式会社

三菱ケミカルグループ

株式会社ロックガレッジ

東京大学大気海洋研究所

千葉工業大学未来ロボット技術研究センター

国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）

ク 後援

朝日新聞千葉総局

読売新聞千葉支局

毎日新聞社千葉支局

日本経済新聞社千葉支局

産経新聞社千葉総局

東京新聞千葉支局

NHK 千葉放送局

千葉日報社

チ・リ・テ・レ

日刊工業新聞社千葉支局

(4) エントランスホール展示

ア エントランス展示「スバル360」

- (ア) 開催期間：令和6年4月2日（火）～5月26日（日）
令和7年2月28日（金）～3月30日（日）

- (イ) 展示内容：我が国の「マイカー時代」の先駆けとなったスバル360（1968年製）について興味・関心を深めてもらうとともに、自動車大学校の修復・メンテナンス作業についても紹介し、その技術や努力について理解してもらう展示でした。

イ 「伝えたい千葉の産業技術100選」

- (ア) 開催期間：令和6年4月2日（火）～令和7年5月22日（木）

- (イ) 展示内容：平成27年度より本館では、歴史的産業技術を次世代へ継承することを目的として、本県発展のターニングポイントとなった産業技術や県内各地域の歴史的経緯・役割がわかる資料を調査し選定している。県内の科学技術に関する興味・関心を高め、地域の産業に関する理解に結び付けることを目的として、令和6年度に選定した資料を展示した。

第083号	高精度硬さ基準片	船橋市
第084号	千葉県立佐倉高等学校記念館	佐倉市
第085号	地盤凍結工法	市原市
第086号	東京湾アクアライン	木更津市
第087号	野田市郷土博物館	野田市
第088号	旭硝子株式会社（現 AGC 株式会社）	船橋工場 船橋市
第089号	KDDI 株式会社 千倉海底線中継所	南房総市

- (ウ) 入場者数：144,004人（令和7年3月30日まで）

ウ エントランス展示「T型フォード（1919年製）」

- (ア) 開催期間：令和6年5月28日（火）～7月11日（木）

- (イ) 展示内容：当館の貴重な動態展示資料であるT型フォード（1919年製）をエントランスに展示し、多くの来館者に見学してもらうとともに、100年前の「ものづくり技術」を体感してもらうことを目的とした展示でした。

エ 太陽電池

- (ア) 開催期間：令和6年4月2日（火）～7月11日（木） エスカレーター側
令和6年7月12日（金）～8月1日（木） チケットカウンター前
令和6年8月2日（金）～9月5日（木） エスカレーター側
令和6年9月6日（金）～9月26日（木） チケットカウンター前
令和6年9月27日（金）～令和7年3月30日（日） エスカレーター側

- (イ) 展示内容：太陽電池パネルやシースルータイプの太陽電池を展示し、太陽電池の概要を紹介した。また、当館の屋根に設置されている太陽電池パネルの発電量や、太陽光発電の仕組みなどを確認することができるモニターと併せて見学できるようにした。本年度は、これまで以上に地球環境や自然エネルギーの利用に対する意識の向上につながる展示とするため、新たにSDGs（持続可能な開発目標）に関する資料を加えて展示を拡大した。なお、本展示は他事業の展示状況に応じて、チケットカウンター前とエスカレーター側とで場所を移動しながら、年間を通じて展示を継続した。

オ 九都県市のきらりと光る産業技術パネル展

- (ア) 開催期間：令和6年12月7日（土）～令和7年1月8日（水）
(イ) 展示内容：九都県市首脳会議が主催する九都県市のきらりと光る産業技術表彰とそれぞれの製品に関するパネルを紹介し、九都県市で活躍される企業とその卓越した技術の存在を伝えた。

カ エントランス展示 イギリス国鉄蒸気機関車「ブリタニア号」模型

- (ア) 開催期間：令和7年1月11日（土）～2月27日（木）
(イ) 展示内容：平成31年度まで実施していた「ブリタニア号乗車会」に替わる事業として、本展示を実施した。「ブリタニア号」はイギリス国鉄のテンダー式旅客用蒸気機関車である。本展示では、収蔵資料である小川精機株式会社製作の「ブリタニア号（1/16模型）」や解説パネル、実車の走行写真を展示し、誕生に至る経緯や車体の構造について紹介した。

キ 北方領土問題啓発パネル展

- (ア) 開催期間：令和7年3月6日（木）～3月14日（金）
(イ) 展示内容：千葉県では、毎年8月と2月の北方領土返還運動全国強調月間に合わせ、北方領土問題に対する県民の関心と理解を深め、北方領土返還要求運動の推進を図る取組を行っている。その一環として、当館を会場に北方領土の概要、歴史、自然、返還運動の経緯などを分かりやすく解説したパネルを展示した。

ク 北朝鮮による日本人拉致問題啓発パネル展

- (ア) 開催期間：令和7年3月15日（土）～3月21日（金）
(イ) 展示内容：千葉県では、北朝鮮による日本人拉致問題について、県民の関心と認識を深める取り組みを行っている。その一環として、当館を会場に拉致問題の概要、歴史、解決を求める運動の状況などを分かりやすく解説したパネルと映像を展示した。

(5) 特設コーナー

ア 「ミニ収蔵資料展 ラジオ 一聲は空を超えてー」

- (ア) 開催期間：令和6年4月2日(火)～6月9日(日)
- (イ) 趣 旨：収蔵する国内外の放送黎明期のラジオを展示し、ラジオの歴史とともにラジオへの興味関心を持っていただく。
- (ウ) 展示内容：昭和初期から60年代までの真空管ラジオ5台、トランジスタラジオ2台、携帯ラジオ2台の計9点の展示をした。
- | | |
|------------------------------|------------|
| 真空管ラジオ 444 (イギリス製) | PHILCO |
| 真空管ラジオ RQU-222 (アメリカ製) | Sonora |
| 真空管ラジオ「国民受信機」新K-1 | 松下電器産業株式会社 |
| 真空管ラジオ AS-350 | 松下電器産業株式会社 |
| 真空管ラジオ「マツダラジオうぐいす SS」6ZB-291 | 株式会社東芝 |
- 他 トランジスタラジオ2台 携帯ラジオ2台

- (エ) 入場者数：13,091人

イ 令和6年度企画展プレ体験展示

「3D ホログラムディスプレイ-君の絵が飛び出る！走る！-」

- (ア) 開催期間：令和6年6月14日(金)～6月30日(日)
- (イ) 趣 旨：企画展における関連事業として、3D ホログラムディスプレイ体験を提供する。平面に描いた絵が、空中に3Dとして表現されゲームに取り込まれて行くことにより、人の目、機械の目、AIの機能が融合した新しい「見る」を体験してもらい、科学事象への興味・関心を高める。
- (ウ) 展示内容：3D GHOST HDU/SKETCH RACING
- (エ) 入場者数：5,075人
- (オ) 展示協力者：X-Gate 株式会社

ウ 「房総ロマン紀行」

- (ア) 開催期間：令和6年7月5日(金)～7月15日(月・祝)
- (イ) 趣 旨：千葉県立美術館・博物館合同企画展「房総ロマン紀行」で展示された写真及び解説から県内の産業技術を紹介する。
- (ウ) 展示内容：現代産業科学館では「千葉県の産業・交通遺跡」を取り上げ、本県の近代化を進めてきた貴重な産業遺産、交通遺跡、土木遺産などを紹介した。
- (エ) 入場者数：3,264人

エ 展示・運営協力会展示「日大生産工学部×モノベエンジニアリング」

- (ア) 開催期間：令和6年7月17日(水)～8月4日(日)
- (イ) 趣 旨：半永久的に使用可能なばね式フィルターによる水質浄化について、その技術と応用分野などについて紹介する。
- (ウ) 展示内容：モノ MAX フィルターデモ装置
モノ MAX フィルター実物展示
濾過原理、逆洗浄、科学的ろ過についてパネル解説
- (エ) 入場者数：6,212人
- (オ) 展示協力者：日本大学生産工学部、株式会社モノベエンジニアリング

オ 展示・運営協力会展示「創業 70 周年マブチモーターの創業期」

- (ア) 開催期間：令和 6 年 8 月 6 日（火）～9 月 1 日（日）
(イ) 趣 旨：玩具市場に革命を起こした、創業期のマブチモーターのモーター開発について紹介する。
(ウ) 展示内容：創業期のマブチモーター実物展示
マブチモーターを搭載した当時の電動玩具
展示している電動玩具の動画映像
モーター開発についての解説パネル
(エ) 入場者数：19,635 人
(オ) 展示協力者：株式会社マブチモーター

カ 「見る」の不思議

- (ア) 開催期間：令和 6 年 9 月 10 日（火）～12 月 15 日（日）
(イ) 趣 旨：人の視覚は目で見る形状が実際とは違って見えたり、平面であるはずの写真が立体的に感じたりする場合がある。「ものを見る」ためには、目の働きと同時に“脳”的働きも非常に重要で、時として私たちに不思議な感覚を覚えさせることがある。
本展示では、入場者に対して視覚による不思議な感覚を楽しみながらその仕組みや心理的要素についての理解と関心、科学に対する興味を深めてもらうことを目的としている。
(ウ) 展示内容：まぼろしの三角形 パネル
エビングハウスの図形 パネル
ポンゾ錯視 パネル
カフェウォール錯視 パネル
ツエルナー図形 パネル
フレーザーの渦巻き錯視 パネル
ヘルマンの格子 パネル
ホログラム「海の底」 実物
ホログラム「ライオンの子供」 実物
ホログラム「マウス」 実物
ホログラム「宇宙遊泳」 実物
(エ) 入場者数：23,785 人

キ 「昭和レトロな台所家電」

- (ア) 開催期間：令和 6 年 12 月 21 日（土）～令和 7 年 3 月 2 日（日）
(イ) 趣 旨：昭和 30 年代以降の台所家電の発展と、その背景に焦点を当て、昭和時代の家庭の暮らしや生活の変化を体感できる機会を提供する。収蔵資料を活用して、台所家電を紹介し、当時を知る人には懐かしさを、若い世代にはレトロなデザインとともにその技術の進歩について興味を持ってもらえることを目指し、世代を超えて楽しめる展示とする。
(ウ) 展示内容：ナショナル ガスクッキングテーブル KN-8 松下電器産業株式会社
コーヒー沸器 NC-400 松下電器産業株式会社
電気釜 RC-8LH 東京芝浦電気株式会社
電気炊飯器 RC-102 東京芝浦電気株式会社
電子レンジ Ala-Carte 東京芝浦電気株式会社
電気オーブン HGR-1010 東京芝浦電気株式会社
浄水器 PJ-1RF 松下電器産業株式会社

食器乾燥機 Dish Dryer VD-410F	東京芝浦電気株式会社
電気自動鍋 NF-82	松下電器産業株式会社
ホットプレート HGT-1000	東京芝浦電気株式会社
電気コンロ HP-615	東京芝浦電気株式会社
電気式ホーコー(火鍋) NB-602	三菱電機株式会社
電気コンロ NK-685SG	松下電器産業株式会社
おでん鍋	ヤマタカ株式会社
電気トースターSK-5	三洋電機株式会社
オーブントースター HTR-660	東京芝浦電気株式会社
自動トースター NT-664R	松下電器産業株式会社

(イ) 入場者数：14,379 人

ク 「ミニ収蔵資料展 ラジオ -2025年3月22日はラジオ100歳の誕生日-」

- (ア) 開催期間：令和7年3月15日(土)～3月30日(日) ※ 令和7年7月まで継続
 (イ) 趣旨：本展示では、収蔵する国内外の放送黎明期のラジオを展示し、ラジオ技術の進歩・歴史について紹介する。
 (ウ) 展示内容：昭和初期から60年代までの真空管ラジオ5台、トランジスタラジオ2台、携帯ラジオ2台の計9点の展示を行った。

真空管ラジオ 444 (イギリス製)	PHILCO
真空管ラジオ RQU-222 (アメリカ製)	Sonora
真空管ラジオ「国民受信機」新K-1	松下電器産業株式会社
真空管ラジオ AS-350	松下電器産業株式会社
真空管ラジオ「マツダラジオうぐいすSS」6ZB-291	株式会社東芝

他 トランジスタラジオ2台 携帯ラジオ2台

(エ) 入場者数：4,873人(令和7年3月30日まで)

(6) ワークショップ

ア 「スバル360分解展示」

- (ア) 開催期間：令和6年4月2日(火)～令和7年3月30日(日)
 (イ) 展示内容：当館所蔵の自動車「スバル360」を分解し、そこに使われている大量のねじに焦点を当て、使用されている部分によって大きさも形状も異なる多種多様なねじを分類して展示した。令和4年度の企画展で展示した後、ワークショップに移動して展示している。
 (ウ) 展示協力者：有限会社 ガレージュアサ

(7) サイエンスドームギャラリー

ア 運用の方針

サイエンスドームギャラリーでは、限定された狭い空間で実施可能なミニ展示を行う。内容は、館設立の趣旨に沿った企画での借用資料や本館収蔵資料等の紹介、企画展・特別展の事前・開催中の関連資料を紹介する。

イ 施設について

サイエンスドーム1階部分にあたり、かつては映像ホール(サイエンスドームの旧称)の映写室として使われていた。面積64.4m²の円筒形の部屋で、壁面の約1/7は高さ約2,430mmのガラス製で、サイエンスドームへの通路に面している。なお、右端はガラス製の観音開きドアとなっている。また、天井には展示照明用ライティングダクトが5本(2回路)整備されている。

「ショーウィンドウのような展示空間」として、内部を簡易展示パネルで仕切るなど、資料や展示意図に合わせた展示を行っている。

ウ 令和6年度実施内容

(ア) 「千葉県誕生150周年記念「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展」

a 開催期間：令和6年4月2日（火）～4月14日（日）

b 入場者数：4,343人

c 趣旨：明治6(1873)年に千葉県が誕生してから現在までの150年間の千葉県のあゆみについて、県立博物館等が所蔵する政治・産業・生活等々が記録された写真により構成したパネルで振り返り、続していく未来（100年後）に思いを馳せる機会を提供する。

d 展示内容：明治から令和までの主な出来事を68点の写真で振り返ることができるよう、写真パネルにしたもの14枚とみんなで創る「ふるさとちばデジタルアーカイブ」事業の中で収集した写真で構成したパネル3枚を展示了。

e 展示協力者：千葉県立中央博物館

(イ) 「精密溶断を極める～鋼材を操る技～」

a 開催期間：令和6年4月20日（土）～7月15日（月・祝）

b 入場者数：30,147人

c 趣旨：極厚鋼板を高圧炎で切断する技術を持つ株式会社中村機材が製作した「チーバ君の溶断オブジェ」をはじめとする作品を展示して、県民に広く「溶断」という技術を広めることを目的として展示をした。

d 展示内容：新収蔵資料である「溶断オブジェ」2点の他、干支の文字を細工したオブジェや幾何学模様のオブジェ、重さが200kgもある大型のオブジェなど精密溶断技術の優れた技を紹介した。

e 展示協力者：株式会社中村機材

(ウ) プラネタリウム関連展示「MEGASTARへの道」

a 開催期間：令和6年7月27日（土）～9月1日（日）

b 入場者数：26,906人

c 趣旨：プラネタリウム上映会「千葉の星めぐり MEGASTAR-FUSION—150年の歩みとこれからー」の関連展示として、プラネタリウム投影機「MEGASTAR-FUJION」を製作した大平貴之氏の「開発の軌跡」と近年開発された超精密恒星原板「GIGAMASK」や超大型プラネタリウム投影機「GIGANIUM」を紹介することを目的として開催した。

d 展示内容：大平貴之氏が高校・大学時代に製作したプラネタリウム1号機、2号機の写真や3号機、「MEGASTAR 1」、「MEGASTAR ZERO」及び「MEGASTAR CLASS」の投影機の実物展示を開発当時の大平氏の思いとともに紹介した。

e 展示協力者：有限会社大平技研

(エ) 「ふしぎな見える世界」

a 開催期間：令和6年9月14日（土）～令和7年2月24日（月・祝）

b 入場者数：58,120人

c 趣旨：ふしぎな視覚の世界を体験することのできる当館の収蔵資料や、古典的な視覚図形を展示した。見ることの不思議を感じてもらい、視覚や見るメカニズムについて興味を持ってもらうことを目的として開催した。

d 展示内容：平成11（1999）年度当館特別展「たんけん！びっくり！ふしぎな世界」にあわせて福田氏（グラフィックデザイナー）が製作した作品2点と、当館所蔵の代表的な錯視図形など5点を展示了。

- (オ) 「スーパーコンピュータ『京』がやってきた！」
- a 開催期間：令和7年3月8日（土）～3月30日（日）※ 令和7年5月まで継続
 - b 入場者数：11,836人（令和7年3月30日まで）
 - c 趣 旨：理化学研究所より寄贈されたスーパーコンピュータ「京」の筐体や部品を展示し、スーパーコンピュータ「京」について紹介する。2012年に完成・供用開始し、2019年に役目を終えた「京」は、実数の処理能力において、世界1位の性能を記録するなど数多くの分野で役立てられてきた。その性能や成果をパネルと映像で紹介し、スーパーコンピュータとはどのようなものなのか、シミュレーションとは何かを知つてもらう機会とする。
 - d 展示内容：令和元年度に寄贈により収蔵したスーパーコンピュータ「京」の本体1ラック一式、解説パネルを展示した。

（8）展示解説

ア 解説ツアー

申込希望のあった予約団体を対象に、展示解説員による解説ツアーを実施した。ツアーは館の紹介、常設展示のうち主要な展示物について各展示室を巡りながら見どころの解説を所要時間約20分程度で実施した。今年度は30周年記念イベント特別解説ツアー、ファミリー向けを4件、シニア団体5件、一般5件、大学生1件、中学生4件、小学生団体1件の計20件の解説ツアーを3人の展示解説員で分担して通年で実施した。

イ 解説タイム

展示解説員が毎日定時に各常設展示室の展示物について解説を実施。現在は事業を休止している。

ウ ジーメンスタイル

展示解説員が2階展示室「現代産業の歴史」の複製模型「ジーメンスの電車」の解説を行うとともに、来館者が電車模型の客車に乗り記念撮影ができるイベントを土日・休日に実施した。現在は事業を休止している。

3 調査研究事業

(1) 調査研究活動

【共同研究】

ア 開館 30 周年記念 令和 6 年度 千葉県立現代産業科学館

企画展「見る 一生き物の目・機械の目」について

山崎恵美子、小笠原淳、鈴木淳一、齋藤純徳、河野隆一郎、佐俣憲範

令和 6 年 10 月 12 日(土)から 12 月 1 日(日)の期間で、「見る」をテーマにした企画展を開催した。本稿は、その概要報告である。企画展で取り上げた計測・測定機器や資料提供など、さまざまな部分の協力を受けた企業や研究機関、学校などとの連携について特徴的な展示資料とともに詳述した。また、企画展の成果や課題などについてもふれている。

イ プラネタリウム上映会における事前決済による座席予約システムの導入について

重黒木誠・井上翔太郎

プラネタリウム上映会において、令和 4 年度よりチケット購入時の混雑緩和および利用者サービスのため、事前決済による座席予約システムを導入した。初年度、次年度では、予約したにもかかわらず来館されないお客様が多かったという反省をもとに、今年度は事前座席予約システムを拡張し、有料入場者については事前決済を導入して、解消を試みた。本稿は、その取り組みについての概要報告である。

(2) 産業技術調査（伝えたい千葉の産業技術 100 選）

ア 概要

本県を発展させた歴史的産業技術は数多くあるが、これらの技術は時代とともに記憶から薄れ、地域とのかかわりや次世代に引き継ぐべき資料も少なくなっている。このため、本県発展のターニングポイントとなった産業技術と県内各地域におけるその歴史的経緯・役割がわかる資料を作成し、児童・生徒が科学技術や地域の産業への興味・関心を深める一助とすることを目的として、「伝えたい千葉の産業技術100選」の選定を行っている。平成27年度より令和5年度までに82点を選定し、今年度の7件と合わせて89点となった。

イ 今年度の選定状況

登録番号	登録資料名	選定理由	所在地	事業所名等
第 083 号	高精度硬さ基準片	世界的デファクトスタンダードとなる高精度硬さ基準片	船橋市	株式会社 山本科学工具研究社
第 084 号	千葉県立 佐倉高等学校記念館	明治の学舎を今に残す千葉県立佐倉高等学校記念館	佐倉市	千葉県立 佐倉高等学校
第 085 号	地盤凍結工法	大深度地下空間創造の担い手	市原市	株式会社精研
第 086 号	東京湾アクアライン	木更津～川崎間を 30 分で結ぶ東京湾アクアライン	木更津市	東日本高速道路 株式会社 (NEXCO 東日本)

第 087 号	野田市郷土博物館	千葉県最初の登録博物館	野田市	野田市
第 088 号	旭硝子株式会社 (現 AGC 株式会社)	世界のテレビ・コンピュータ用ブラウン管事業を支えた船橋工場	船橋市	AGC 株式会社
第 089 号	KDDI 株式会社 千倉海底線中継所	世界への情報の玄関	南房総市	KDDI 株式会社

(3) 収集保存活動

令和6年度に収集した資料は、寄附資料3点である。

ア 寄附資料

- | | |
|---------------------|----|
| 21インチブラウン管用パネルガラス | 1点 |
| 21インチブラウン管用ファンネルガラス | 1点 |
| フリットガラス（接合用ガラス） | 1点 |

上記 3 点の補助資料として、ブラウン管製造時の映像及び製造工場の写真

イ 資料収集状況（令和 7 年 3 月 31 日現在）

	購入 総点数	寄附 総点数	受託 総点数	借用 総点数	採集 総点数	保管換 総点数	合計 総点数
産業技術 資料	94	1,790	5	20	2	695	2,606
合計	94	1,790	5	20	2	695	2,606

ウ スバル 360 メンテナンス事業

当館所蔵のスバル 360 は、平成 28 年度に千葉県自動車大学校の全面的な協力により「スバル 360 修復プロジェクト」を実施し、5 か月余りかけて改裝され、走行できるようになった。また、令和 3 年度には、同大学校の協力により定期点検と美観維持のためのメンテナンス作業が実施された。

作業内容としては、①点検前の不具合修理、②法定 2 年定期点検整備、③その他の整備等（オーバーホール含む）であるが、生産から 50 年以上経過しており、部品の調達もままならない困難な状況の中、メンテナンス作業を進めていただいた。このメンテナンスによりスバル 360 は、往時をしのばせる走行性能を取り戻しただけでなく、外観まで美しく蘇った。

定期的なメンテナンス（充電・給油・走行テスト等）は、職員が年間を通して行い、良好な状態が維持できるよう努めている。

4 教育普及事業等

(1) 事業実施状況

事業	種別	形態	番号	項目	内 容	参加者	日数	期日等
展示会	主催	1	常設展示	①現代産業の歴史	144,004	304	開館日 (通年304日)	
				②先端技術への招待				
				③創造の広場				
		2	企画展 プラネタリウム 上映会	最新の投影機による 星空の映写会	12,108	20	8/9~8/29	
		3	プラネタリウム 解説会	大平貴之氏による 生解説	666	2	8/17・18	
		4	企画展	「見る-生き物の目・機 械の目-」	12,967	44	10/12~12/1	
		5	特設コーナー 展示	協力会企画展以外の特 設コーナー展示	13,091 5,075 3,264 23,785 14,379	60 15 10 83 54	4/2~6/9 ラジオ 6/14~6/30 令和6年度企画展 プレ体験展示 7/5~7/15 房総・ロマン 紀行 9/10~12/15 「見る」の不思議 12/21~3/2 昭和レトロな 台所家電	
				ワークショップ 展示	95,202	304	4/1~3/30 スバル	
				科学情報 コーナー展示	95,202	304		
				エントランス 展示	のべ 210,830	304	スバル360 T型フォード ブリタニア号 伝えたい千葉の 産業技術100選 展示 北方領土問題啓 発パネル展 北朝鮮による日 本人拉致問題啓 発パネル展 九都県市のキラ リと光る産業技 術パネル展	

事業	種別	形態	番号	項目	内 容	参加者	日数	期日等
展示会	主催		6	サイエンスドーム ギャラリー展示	収蔵資料・写真を中心とした展示-企画展等の紹介となる展示、数年継続するシリーズ展示等	131, 352	274	4/2~4/14 千葉県:千葉県誕生150周年事業「写真でみるちばのあゆみ」 4/20~7/15 精密溶断を極める～鋼材を操る技～ 7/27~9/1 MEGASTERへの道 9/14~2/24 ふしぎな見える世界 3/8~3/30 スーパーコンピュータ「京」
			7	市川市児童生徒科学展	市川市内小・中学生が夏休みに制作した科学作品の展示	2, 366	2	9/7・8
	連携		8	五市合同技術・家庭科作品展	葛南教育事務所管内(船橋、市川、習志野、八千代、浦安市)技術・家庭科作品の展示	778	5	1/17~1/22
			9	展示・運営協力会連携事業	①展示会「これでわかった!未来の技術2024」 ②展示・運営協力会特設コーナー展示	15, 731 6, 212 19, 635	15 17 26	8/10~8/25 7/17~8/4 8/6~9/1
			10	県立市川工業高等学校インテリアデザイン部連携事業	クリスマス・正月装飾 校外作品展	8, 873 7, 321	26 20	12/13~1/19 装飾 12/20~1/19 作品展
			11	県立市川工業高等学校インテリア科連携事業	卒業制作展 課題研究発表会	521 219	2 1	2/15・16 2/16
	演示実験・展示解説	主催	12	少年少女発明クラブ作品展	県内7つの少年少女発明クラブの作品展	762	2	1/25・26
			13	演示実験	①科学実験 (人形劇を含む) ②放電実験 ③新素材実験 ④極限環境実験	35, 693 31, 961 9, 592 19, 117	304 304 304 304	開館日 (通年304日) 開館日 (通年304日) 開館日 (通年304日) 開館日 (通年304日)

事業	種別	形態	番号	項目	内 容	参加者	日数	期日等		
展示	展示解説	主催	14	展示解説	⑤解説ツアー	173	15 (20件)	6/7・22・23 7/2 9/28 10/17・18・ 23・26・30 11/26・28 12/13 2/15 3/13		
					⑥解説タイム			令和6年度 は休止		
					⑦ジーメンタイム			令和6年度 は休止		
教育普及	講座	主催	15	出張講座	小・中学生とその指導者 を対象とした館外での 工作教室、講座等	1,940	48 (50件)	6/8・28・29 7/4・12・15・ 19・21・23・30 9/8・14・29 10/9・13・18・ 19・27 11/2・8・9・ 16・22・23・ 24・26・28 12/3・6・8・ 11・14・18・20 1/11・17・18・ 22・30 2/1・5・8・12・ 21・27・28 3/1・9		
								12/22		
								148		
								7/3 10/4・25 11/15 2/19		
								25		
連携			17	市川市適応指導 教室「ふれんど ルーム市川」	市川市生涯学習センター 内に設置された不登校支 援学級を対象にした工作 教室等	85	5	10/23		
								31		
			18	県教育委員会 連携事業	公立小・中学校等初任事 務職員研修会			8/1		
			19	県総合教育セン ター連携事業 「現代産業科学 館で学ぶ実験実 習研修」	展示の見学や工作等の体 験活動を通して、当館の 活用法や指導法を学ぶ研 修					

事業	種別	形態	番号	項目	内 容	参加者	日数	期日等
教育普及	工作教室・乗車会・体験教室	主催	20	たんけん!!科学館	常設展示に関するクイズラリー	1,014	5	5/3・4 9/15・16 3/8
				たんけん!!科学館 (開館30周年記念イベント)		241	2	6/22・23
		開館30周年記念イベント 国際博物館の日記念事業 県民の日・開館記念日記念事業 文化の日記念事業	21	科学館 わくわく教室 (旧科学館子ども教室)	講座・工作教室 科学館わくわく教室を実施	2,947	21	4/20・28 5/5・12・25 6/1・9・15・30 9/21・23 10/14・20 11/4・30 12/22 1/12・25 2/9・23・24
						243	2	6/22・23
						170	1	5/12
						176	1	6/15
						163	1	11/4
		企画展関連事業 工作教室	22	企画展関連事業 工作教室	企画展関連の工作教室	760	7	10/19 11/9・16・22 23・24
			23	T型フォード 乗車会		252	2	5/26 2/16
		連携	24	夢チャレンジ体験スクール(サイエンススクール)県生涯学習課連携事業	工作教室	108	2	7/25・26
			25	さわやかちば県民プラザ連携事業 (ちば子ども大学)	本館を会場とした講座	39	2	9/14 11/16
			26	NPO法人くらしと バイオプラザ21 連携事業	①バイオカフェ	—	—	令和6年度 は休止
					②親子バイオ入門実験 教室(DNA取り出し・ カラーマジックケーキをつくろう)	25 46	1 1	7/13 10/6
			27	土器ッと古代 宅配便	勾玉の製作体験	70	1	7/7

事業	種別	形態	番号	項目	内 容	参加者	日数	期日等
教育普及	工作教室・体験教室・講演会	連携	28	展示・運営協力会展示会関連事業	①実験・工作教室	167	6	7/21・24・30・31、8/30・31
					②サイエンスショー	495	4	7/30 8/2・30・31
			29	木更津工業高等専門学校連携事業	子ども向け高専ロボコン出場ロボットの展示、操縦及び工作体験と中学生・保護者向け学校説明会	239	1	7/6
						17, 395	20	8/9～8/29
		主催	30	県民の日中央行事	千葉県誕生150周年記念事業イベント(県民の日行事)での工作教室	134	1	6/16
			31	千葉県産フェア(文化振興課協力事業)	イベント会場での工作教室(イオンモール津田沼)	—	—	令和6年度は実施なし
			32	展示・運営協力会展示会関連事業	講演会	107	1	11/16
	イベント	主催	33	クリスマスコンサート	マンドリン・マンドラ・マンドチェロによる三重奏	150	1	12/15
			34	クラシックカー・スポーツカーin科学館	県の基幹産業である鉄鋼・石油産業への興味を喚起するためにクラシックカーやスポーツカーを紹介	1, 063	1	3/2
			35	いちかわ産フェスタ	市川市商工会議所の連携事業。市川市内の地元産業の紹介	14, 500	1	3/15
		連携	36	三者連携事業「おにたかとらい」	市川市生涯学習センター・ニッケコルトンプラザ・現代産業科学館の連携事業。各施設の行事等を関連させて広報を兼ねたイベント等	563	46	7/14・17～31 8/8 10/19 11/1～12/1 12/15 1/25, 2/22
					(開館30周年記念イベント)こども図書館司書による読み聞かせ	33	1	6/23
					BM車(自動車図書館)の展示、こどもとしょかん「関連図書の展示」、ニッケコルトンプラザ「ポスター展示」	—	—	6/23 BM車 6/14～6/30 関連図書 6/14～6/30 ポスター展示

事業	種別	形態	番号	項目	内 容	参加者	日数	期日等
学校教育支援普及	主 催		37	産業学習 in 科学館	色々な企業と連携して、企業が取り組んでいる仕事や研究をサイエンスドーム等で紹介する(モノベエンジニアリング・KDDI)	268	2	5/19 2/2
			38	産業キャリアイメージ形成支援事業	小学生から高校生までを対象として、様々な企業と連携し、職種や職業に興味を持たせ、今後のキャリア形成を考える機会とする	425	8	8/7 9/7・19・23 12/6 3/6・7・14
			39	教員のための 博物館の日	県内外の教員または教員志望の大学生を対象に、博物館の教育資源を知り、活用する機会を提供するイベント	1	1	7/27
			40	職場体験・イン ターンシップ	中学校・高等学校生徒の職場体験・インターンシップの受け入れ	20	16	7/2~4 7/24~26 10/17・18 10/30・31 11/1・28・29 1/21・22・30
			41	博物館実習	学芸員資格修得のための実習生受け入れ	9	5	10/25~30
			42	「授業に役立つ 県立博物館」プ ロジェクト	小・中学校等を対象とした学習キットの開発及び貸し出し	—	46	5/16~31 7/25~8/1 8/7~13 9/27~10/11
		連 携	43	教職員博物館 体験研修	博物館の利用促進を図る目的の教職員対象の研修	1	2	8/27・28
			44	大学連携博物館 教育利用実習 (秀明大学)	展示や実演の見学を通して、現代産業科学館の活用方法を学ぶとともに、児童・生徒へ科学への興味関心を高められるような指導法を学ぶ	18	1	5/11
			45	高等学校単位 認定支援事業	学校外の学修として、高校生に対する博物館業務に関する講座	—	—	令和6年度は 休止
			46	工業系高校人材 育成コンソーシ アム千葉	県立学校改革推進プランに基づく工業科を設置する高等学校との連携	—	—	令和6年度は 休止

事業	種別	形態	番号	項目	内 容	参加者	日数	期日等
広報情報提供	主催		47	刊行物の作成・配布	広報資料の刊行・館外における広報資料の配布等の活動	—	—	通年
			48	情報提供	報道機関等関係機関への情報提供・取材対応	—	—	通年
			49	メールマガジン	メールマガジンの作成・配信等	—	—	通年
			50	外部広報活動	館外における広報資料の配布等の活動	—	—	通年
			51	図書資料の収集・提供	図書資料による情報提供	—	—	通年
			52	博物館情報ネットワーク	博物館情報ネットワークによる情報提供	—	—	通年
			53	ホームページの運営	ホームページによる情報提供	—	—	通年
			54	SNS等による情報発信	SNSを活用した情報発信	—	—	通年
			55	年報の作成	各年度の実績報告の編集・発行	—	—	通年
			56	レファレンス	利用者の科学一般・展示に関する質問への回答、及びその内容の記録・整理・集積	—	—	通年
	連携		57	宇宙事業	パブリックビューイング(ロケット打ち上げ)、space iの宇宙ニュース、ISS・はやぶさ等関係展示	—	—	通年
			58	科学情報コーナー	NICT(情報通信研究機構)との連携展示等	—	—	通年
調査研究	主催		59	常設展示に関すること	調査研究	—	—	通年
			60	次年度以降企画展に関すること	次年度以降企画展	—	—	通年
			61	産業技術調査	千葉県(近代)の産業(工業)・交通・土木等に関する調査、伝えたい千葉の産業技術100選	—	—	通年
			62	調査研究に関すること	館の活動に関する総合研究・共同研究・個別研究の計画策定及び実施	—	—	通年
			63	研究報告に関すること	研究成果のまとめ	—	—	通年

事業	種別	形態	番号	項目	内 容	参加者	日数	期日等		
調査研究	調査研究	主催	64	資料調査・収集活動	館の活動に関する資料の調査・収集	—	—	通年		
			65	資料の保存・管理活動	活用しやすい所蔵資料の管理システムを構築	—	—	通年		
連携協力	博物館	連携	66	千葉学講座	博物館専門職員による研究成果の発表と準備運営	—	—	2/22 当館職員発表		
			67	千葉県博物館協会 博物館資料救済事業	災害時における博物館資料の救済活動	—	—	通年		
連携協力	ボランティア	主催	68	ボランティア	ボランティアを育成し、博物館事業に参加	のべ 245	105	図書ボランティア 東邦大学生ボランティア 日大学生ボランティア		
			69	展示・運営協力会	①展示事業への指導助言及び支援	—	—	理事会 (8/23・2/28) 総会(8/23)		
	展示・運営協力会	連携			②館の依頼による調査協力	—	—			
					③会員相互の交流活動	—	—			
友の会	販売	70	ミュージアムショップ	科学関連グッズの販売を通じ科学への興味関心を喚起 (H28より友の会が運営)	—	—	土日祝日の午後に営業			
	友の会	71	友の会	館事業への支援・協力 (H28より再開)	—	—				

ア 科学館わくわく教室

だれもが産業に応用された科学技術を体験的に学ぶことのできる場を提供することを目的とし、小・中学生の科学に関する興味・関心を高めるため、科学工作教室や、講座などの体験活動を行った。

科学館わくわく教室 実施一覧 (定員 計 3,045 人 参加人数 計 2,947 人)

	実施日	曜	事業名	定員	参加人数	参加費(円)
1	4月 20日	土	光るスライムをつくろう	175	109	200
2	4月 28日	日	風と遊べる凧をつくろう	140	80	350
3	5月 5日	日	葉っぱの化石をみつけよう	175	181	250
4	5月 12日	日	きらきらミラーキューブをつくろう	175	170	200
5	5月 25日	土	LEDミニライトをつくろう	175	153	250
6	6月 1日	土	光るスライムをつくろう	175	181	200
7	6月 9日	日	スルリとすりぬけるまぼろしの壁をつくろう	175	174	250
8	6月 15日	土	不思議なステンドグラスをつくろう	175	176	250
9	6月 30日	日	回転式アニメーションをつくろう	175	154	200
10	9月 21日	土	プログラミングをたのしもう (MESH)	150	154	50
11	9月 23日	月祝	けいしたい電話のナカをみてみよう	75	100	50
12	10月 14日	月祝	きらきらミラーキューブをつくろう	175	161	200
13	10月 20日	日	光るスライムをつくろう	175	170	200
14	11月 4日	月祝	不思議なステンドグラスをつくろう	175	163	250
15	11月 30日	土	オリジナルスノードームをつくろう	120	126	250
16	12月 22日	日	オリジナルスノードームをつくろう	105	100	250
17	1月 12日	日	風と遊べる凧をつくろう	140	128	350
18	1月 25日	土	楽しく下水道を学ぼう	60	36	50
19	2月 9日	日	くっつきスライムをつくろう	175	182	200
20	2月 23日	日	LEDミニライトをつくろう	80	77	250
21	2月 24日	月祝	スルリとすりぬけるまぼろしの壁をつくろう	175	172	250

対象：中学生以下（小学3年生以下保護者同伴）

協力：千葉県立現代産業科学館友の会

イ クラシックカー・スポーツカーin科学館

本県の基幹産業の一つである石油産業に貢献している自動車産業や工業技術の歴史を知る機会として、クラシックカーやスポーツカーの展示を行った。

概要は以下のとおりである。

- (ア) 日 時：令和7年3月2日（日）
- (イ) 主 催：千葉県立現代産業科学館
- (ウ) 協 力：千葉県立現代産業科学館友の会、有限会社ガレージユアサ
- (エ) 場 所：サイエンス広場
- (オ) 内 容：クラシックカー及びスポーツカーの展示
42台（当館所蔵T型フォードを含む）
- (カ) 対 象：一般
- (キ) 参加者数：1,063人

ウ 出張講座

博物館における学習資源の有効活用と博物館事業の活性化を図るため、小・中学校等の依頼により児童・生徒又はその指導者を対象として、科学教室及び工作教室を館外で実施した。

出張講座 実施一覧 (参加人数 計 1,940 人)

	実施日	曜	内 容	団体・会場	参加人数
1	6月 8日	土	不思議なステンドグラス スノードーム	船橋市北部公民館	20 20
2	6月 28日	金	スノードーム	袖ヶ浦特別支援学校 (千葉市)	17
3	6月 29日	土	スノードーム	船橋市法典公民館	45
4	7月 4日	木	不思議なステンドグラス 光るスライム	寿保育園 (我孫子市)	42 28
5	7月 12日	金	化石のレプリカ	流山市立市野谷小学校	18
6	7月 15日	月	光る化石のレプリカ 葉っぱの化石	浦安市青少年交流活動センター	30 30
7	7月 19日	金	葉っぱの化石	千葉市長作公民館	16
8	7月 19日	金	サイエンスショー	市川市立大町小学校	81
9	7月 21日	日	光る化石のレプリカ 不思議なステンドグラス	東郷福祉児童センター (茂原市)	22 22
10	7月 23日	火	スノードーム	千葉市さつきが丘公民館	24
11	7月 30日	火	スノードーム	千葉市犢橋公民館	15
12	9月 8日	日	スノードーム	船橋市海老が作公民館	24
13	9月 14日	土	まぼろしの壁	新習志野公民館 (習志野市)	18
14	9月 29日	日	きらきらミラーキューブ	南キッズこども会 (市川市)	18
15	10月 9日	水	葉っぱの化石	船橋市立七林小学校	62
16	10月 13日	日	LED ミニライト	新習志野公民館 (習志野市)	24
17	10月 18日	金	光るスライム	流山市立市野谷小学校	20
18	10月 19日	土	LED ミニライト	白子町立南白亀小学校 【白子町教育委員会】	16
19	10月 27日	日	スノードーム	市原ちはら台子ども会 (市原市)	25
20	11月 2日	土	LED ミニライト	白子町立白潟小学校 【白子町教育委員会】	27
21	11月 8日	金	まぼろしの壁	流山市立市野谷小学校	22
22	11月 9日	土	スノードーム	千葉市おゆみの公民館	15
23	11月 16日	土	LED ミニライト	白子町立関小学校 【白子町教育委員会】	11

	実施日	曜	内 容	団体・会場	参加 人数
24	11月22日	金	サイエンスショー	浦安市立入船小学校	80
25	11月23日	土	くっつきスライム	フルルガーデン八千代(八千代市)	21
26	11月24日	日	化石のレプリカ 葉っぱの化石	二宮福祉センター(茂原市)	20 20
27	11月26日	火	葉っぱの化石	松戸市立相模台小学校	160
28	11月28日	木	色つきスライム	鎌ヶ谷市立東部小学校	110
29	12月3日	火	葉っぱの化石	柏市立田中小学校	101
30	12月6日	金	LEDミニライト	流山市立市野谷小学校	82
31	12月6日	金	スノードーム	流山市立市野谷小学校	22
32	12月8日	日	スノードーム	流山市文化会館	20
33	12月11日	水	葉っぱの化石	我孫子市立湖北台西小学校	47
34	12月14日	土	スノードーム	浦安市青少年交流活動センター	17
35	12月18日	水	スノードーム	市川市立第一中学校 国府台小学校	35
36	12月20日	金	スノードーム	二宮福祉センター(茂原市)	19
37	1月11日	土	スノードーム	船橋市葛飾公民館	21
38	1月17日	金	LEDミニライト	流山市立市野谷小学校	20
39	1月18日	土	きらきらミラーキューブ スノードーム	船橋市丸山公民館	19 19
40	1月22日	水	不思議なステンドグラス	野田市立山崎小学校	19
41	1月30日	木	葉っぱの化石	柏市立酒井根小学校	94
42	2月1日	土	スノードーム	船橋市小室公民館	33
43	2月5日	水	スノードーム	浦安市立富岡中学校	5
44	2月8日	土	LEDミニライト	船橋市八木が谷公民館	23
45	2月12日	水	プログラミング	市川市立第一中学校 国府台小学校	47
46	2月21日	金	葉っぱの化石	流山市立市野谷小学校	22
47	2月27日	木	光る化石のレプリカ	千葉市立都賀小学校【理究キッズ】	20
48	2月28日	金	葉っぱの化石	松戸市立松飛台小学校	91
49	3月1日	土	スノードーム	船橋市三咲公民館	21
50	3月9日	日	光るスライム	大網白里市図書室	20

エ 公開講座

さわやかちば県民プラザのイベント「ちば子ども大学」と連携開催した。

- (ア) 開催日：令和6年9月14日（土）
(イ) 主催：千葉県立現代産業科学館
(ウ) 実施場所：研修室
(エ) 内容：プログラミング教室（入門編）

公開講座実施一覧

実施日	曜	内 容	定員	参加人数	参加費
9月14日	土	プログラミング教室（入門編）	30名	12名	無料

- (ア) 開催日：令和6年11月16日（土）
(イ) 主催：千葉県立現代産業科学館
(ウ) 実施場所：研修室
(エ) 内容：ふしぎ体験！立体錯視アートの世界

公開講座実施一覧

実施日	曜	内 容	定員	参加人数	参加費
11月16日	土	ふしぎ体験！ 立体錯視アートの世界	35名	27名	無料

オ T型フォード乗車会

- (ア) 開催日
① 令和6年5月26日（日）
② 令和7年1月26日（日）※鳥インフルエンザ対応のため中止
③ 令和7年2月16日（日）
(イ) 参加者数：計252名（①123名③129名）
(ウ) 場所：サイエンス広場
(エ) 内容：T型フォードの乗車会を行うことで、来館者に当時の技術や文化のすばらしさを体験させるとともに石油産業・自動車産業の発展の歴史を知る機会とする。午前午後各1回ずつ乗車会を実施し、各回先着15組程度当日受付を行った。参加費は無料で、周回数は特設コース2周を基本とした。

カ たんけん!!科学館

- (ア) 開催日
令和6年 ① 5月3日（金・祝） ② 5月4日（土・祝）
③ 9月15日（日） ④ 9月16日（月・祝）
令和7年 ⑤ 3月8日（土）
(イ) 参加者数：計1,014名（①204名②218名③205名④223名⑤164名）
(ウ) 場所：各展示室（常設展）、エントランスホール
(エ) 内容：常設展示に関するクイズに楽しみながら取り組むことで、展示に対する興味や関心、理解を深める機会とする。午前2回午後2回、各回50組当日先着順で実施した。クイズは難易度別に3コース（未就学児・小学校低学年対象「タリップくんコース」、小・中学生対象「チャレンジコース」、高校生以上対象「博士コース」）を設け、参加者が選択し取り組んだ。

キ クリスマスコンサート

- (ア) 開催日：令和6年12月15日（日）
(イ) 参加者数：150名
(ウ) 場所：エントランスホール
(エ) 内容：クリスマス時期の雰囲気作りをし、楽しく親しみやすい科学館を周知することを目的として、明治高校マンドリン部OBの4名に依頼し、マンドリン・マンドラ・マンドチェロによる演奏を実施した。エントランスホールで、クリスマスにちなんだ曲を中心に、アンコールも含め8曲を演奏した。

ク クリスマス実験講座

- (ア) 開催日：令和6年12月22日（日）
(イ) 参加者数：148名（①61名 ②87名）
(ウ) 場所：サイエンスステージ
(エ) 内容：イギリスの科学者ファラデーが1860年から1861年にかけてのクリスマス休暇に王立研究所で行ったクリスマスレクチャーにちなみ、毎年12月に「クリスマス実験講座」を実施している。今年度は、「クリスマスにはコマを回そう」「風といっしょにあそぼう」と題し、主任技術員が実験を計画して実施した。

（2）学校教育支援

ア 職場体験及びキャリア実習

（ア）職場体験

中学生の進路適正の吟味と進路情報の活用、望ましい職業観・勤労観の獲得、及び主体的な進路の選択と将来設計などを目標として、希望のあった学校より1校3人を上限として職場体験の受け入れを行った。

実施一覧

受け入れ期間	曜	学校名	学年	参加人数
7月2日 3日 4日	火 水 木	市川市立福栄中学校	2年	3
10月17日 18日	木 金	市川市立第三中学校	2年	3
10月30日 31日	水 木	市川市立第六中学校	2年	3
11月1日	金	市川市立下貝塚中学校	2年	3
11月28日 29日	木 金	船橋市立二宮中学校	2年	3
1月21日 22日	火 水	船橋市立古和釜中学校	2年	2
1月30日	木	市川市立高谷中学校	2年	1

(イ) キャリア実習（旧インターンシップ）

高校生に就業体験の機会を提供することにより、職業観・勤労観を育成するとともに、主体的な職業選択能力を高めることに寄与することを目的として、インターンシップの受け入れを行った。

実施一覧

受け入れ期間	曜	学 校 名	学年	参加人数
7月24日	水	県立千葉東高等学校	1年	1
7月25日	木	県立船橋二和高等学校	3年	1
26日	金			

イ 博物館実習

当館では平成8年度より博物館実習生の受け入れを行っている。令和6年度は大学生9人を受け入れ、現代産業科学館の展示活動及び教育普及活動等に関連した内容で実習を行い、課題研究については個人単位での取組とした。

(ア) 実施期間及び日数

令和6年10月25日（金）～10月30日（水）の5日間（10月28日（月）は休講）

(イ) 受け入れ大学名及び人数

日本大学3人、千葉大学2人、帝京科学大学1人、八洲学園大学1人、専修大学1人、二松学舎大学1人（合計9人）

(ウ) 日程

令和6年度 博物館実習日程

月 日	曜	時間	実 習 内 容
10月25日	金	午前	開講式・職員紹介・現代産業科学館の概要・庶務課の業務
		午後	普及課・学芸課の業務について・館内見学
10月26日	土	午前	受付・解説員業務・普及課業務作業
		午後	課題説明・課題研究
10月27日	日	午前	企画展示室監視業務
		午後	企画展示室監視業務
10月29日	火	午前	普及課業務作業
		午後	課題研究
10月30日	水	午前	課題発表
		午後	講評・閉講式

ウ 「授業に役立つ県立博物館」プロジェクト

「授業に役立つ県立博物館」プロジェクトで制作した学習キットについては、年間を通して随時貸し出しを行った。また、館内展示や教職員の研修会等において広報活動を行い、学習キットの周知をした。

(ア) ソーラークッカーキット

令和6年度 学校等への貸出実績 0回

館事業での使用（体験教室など） 1回

広報活動使用 2回

(イ) エレキテル模型キット

令和6年度 学校等への貸出実績 0回

館事業での使用（体験教室など） 1回

広報活動使用 2回

(ウ) 圧電発電キット

令和6年度 学校等への貸出実績	1回
館事業での使用（体験教室など）	1回
広報活動使用	2回

(エ) 太陽光発電キット

令和6年度 学校等への貸出実績	0回
館事業での使用（体験教室など）	0回
広報活動使用	0回

5 情報提供活動

(1) 図書資料等の収集・提供

当館の図書資料は、館の趣旨に沿って自然科学、技術、工学、工業を中心とした図書及び国内の博物館、研究機関等関連施設の刊行物を収集し、これらの情報を来館者へ提供している。また、企画展等イベントの際は、関連図書の紹介を図書室で行っている。児童向けの科学本も豊富で、来館する子どもたちに読書の楽しみを提供している。当館の図書室及び書庫あわせての蔵書収容能力は約27,000冊である。

令和7年3月末現在の蔵書数は約17,470冊であり、雑誌は約30タイトルを数える。

(2) レファレンス活動

年間を通じて随時、次のような利用者の質問への回答及び情報提供を行っている。なお、今後、その内容の記録、整理、集積を行っていく。

- ア 常設展示及びイベントに関する情報
- イ 他の博物館及び博物館資料に関する情報
- ウ 映像、図書資料に関する情報
- エ 科学一般に関する情報

(3) ホームページ

ホームページは、トップ画面のメインビジュアルや告知バナーを活用して、当館の展示やイベントの案内等、常時掲載した。

今年度は、実施できる事業やイベントが充実したため、最新のイベントや企画展、ミニ展示の情報を掲載するとともに、実施したイベントについては写真付きで紹介する等、当館の状況を見る能够性を高めることができるように工夫した。

6月には開館30周年記念として、様々なイベント企画をホームページに掲載したため、当日は多くの方々の来場が見られた。8月には、例年どおりプラネタリウム上映会が開催され、インターネットを活用した事前予約制を導入して運用を行った。プラネタリウム上映会にも、多くの方々が鑑賞し、大盛況のイベントとなった。

開館30周年記念事業企画展「見る」、展示・運営協力会主催事業のイベント案内やその様子も常時掲載することで、各種イベントがある時には、ホームページのアクセス数が増加した。

(4) 広報活動

館の活動等を広く紹介するため、見学のしおり・開館情報・科学館ニュースなどを作成した。作成した刊行物は、県内の各学校・教育機関・県内外の類似施設・マスコミ・関係機関などに送付して広報活動を行った。なお、イベント日時等具体的なものについては、自作のものを近隣小学校に年5回、各回約2万部配布した。

作成刊行物一覧

No.	刊行物及びリーフレット	発行部数	サイズ	担当課
1	科学館ニュース No.47	17,000	A4 判 (A3 見開き)	普及課
2	令和 6 年度 下半期イベント情報	30,000	100×210 (A4 巻き三つ折り)	普及課
3	令和 7 年度 上半期イベント情報	30,000	100×210 (A4 巻き三つ折り)	普及課
4	見学のしおり	60,000	101×205 (397×205 観音折り)	普及課

(5) メールマガジン

当該月の行事や展示などの情報提供を行うため、登録者向けのメールマガジン（各月25日配信）を基本として年12回配信した。内容としては、「休館日」「行事のご案内」「展示のご案内」を中心とし、企画展等の詳しい案内やコラム等も掲載した。

(6) SNS 等による情報発信

SNS等による情報発信は、今までの館のYouTube動画が「千葉県公式PRチャンネル」に統合され、館独自のYouTubeチャンネルが廃止されたため、今年度はXを主として情報発信を行った。

X では、展示物やイベントの案内、館内の様子などを掲載した。プラネタリウムと企画展期間中は、X での情報発信を多く行い、数多くの閲覧を確認できた。特に、企画展開始前から始まった館内で絶滅動物について学べる AR アプリの情報に関しては、週 1 回の頻度で掲載を行い、企画展後も 2 週間に 1 回の頻度で定期的に掲載を行った。

魅力あるポスターや AR アプリを使ってお客様が楽しんでいる写真を多く掲載したため、1000 回以上の閲覧数がついたものも多く見られた。

6 連携・協力事業

(1) 展示・運営協力会

千葉県立現代産業科学館展示・運営協力会は、千葉県立現代産業科学館の展示及びこれに関わる教育普及・調査研究等の活動をより発展させるため、館の活動の趣旨に賛同し、専門的知識を有する団体及び個人が、館の行う科学技術の普及に対し支援及び助言を行うことを目的に活動している。

ア 常設展示協力

館の常設展示に関する技術的指導や情報提供、修繕等を行ったほか、展示物の提供や展示のための調査・研究活動に対する支援、助言を行った。

イ 企画展・企画展展示協力

協力団体として以下の会員が企画展に関する展示の協力を行った。

企画展示協力

開催日	会員名	事業	協力内容
10月12日（土）～12月1日（日）	公益財団法人 かずさDNA研究所	展示資料	独立行政法人製品評価技術基盤 機構バイオテクノロジーセンターの紹介
	千葉工業大学	展示資料	未来ロボット技術研究センター fuRoの紹介

ウ 展示会

「これでわかった!未来の技術 2024 ー最先端テクノロジーにふれてみよう!ー

(ア) 開催期間: 令和6年8月10日（土）～8月25日（日）

(イ) 会場: 企画展示室

(ウ) 入場者数: 15,731人

展示出展団体

会員名	概要・タイトル等	展示内容等
出光興産株式会社 次世代技術研究所	出光興産の研究開発 と事業領域の紹介	・出光の製品、技術を展示 (リチウム二次電池、有機ELテレビ、樹脂加工製品「マジックトップ」、樹脂加工製品「プラロック」、加飾用透明シート「ピュアサーモ」等)
株式会社Eプラン	汚れの9割は水で落とせる ～人に優しく、自然環境を汚さず、キレイになる強アルカリイオン水～	・強アルカリイオン水のスーパーアルカリイオン水が、簡単に家庭で作れる生成器を展示。 (Ph12.5の強アルカリイオン水で、99.83%純水でありながら合成洗剤と同等の洗浄効果を発揮し、人体への影響や環境にも配慮した製品)
公益財団法人 かずさDNA研究所	「生命の設計図」といわれるDNAについて	・パネルを使って生命の設計図「DNA」や「DNAのはたらき」を説明
関東天然瓦斯開発 株式会社	千葉県が誇る天然資源！天然ガス	・千葉県産天然ガスの採取方法、埋蔵量、用途等をパネルで説明

会員名	概要・タイトル等	展示内容等
国土交通省 関東地方整備局 関東技術事務所	見る！触れる！知る！ ～建設技術展示館に行ってみよう！～	<ul style="list-style-type: none"> ・「建設技術展示館」を紹介するパネル及びモニターでの映像による紹介 ・関東技術事務所の業務（建設用機械等）の紹介及び建機カードの配布 ・インフラ分野の DX 取り組みの紹介 ・関東技術事務所における防災への取り組みの紹介
株式会社 斎藤製作所	小さなエンジンの大きな魅力 ～ラジコン 4 ストロークエンジンとチームエンジン～	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジコンボート 2 基、チームエンジンラジコン用単気筒エンジン、ボクサー2気筒エンジン、ラジアル3気筒エンジン、ラジアル5気筒エンジンエンジンカットモデル（動作体験用）の展示
千葉県産業支援 技術研究所	凍らせて乾燥させる ～フリーズドライとは～	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーズドライをテーマとした展示（食品や植物をフリーズドライしたものその他、フリーズドライ（昇華）の原理や活用例を説明したパネルの展示）
DIC 株式会社 総合研究所	化学で彩りと快適を提案する -Color&Comfort-	<ul style="list-style-type: none"> ・「化学で彩りと快適を提案する」色の世界とものづくり（DIC カラーガイド、デジタルカラーガイド日本の伝統色、フランスの伝統色、化粧品顔料、スピルリナ青色色素リナブルー、PPS 樹脂、両面テープ等）
一般社団法人 電気学会 電気技術史技術 委員会	デュフィの巨大壁画 『電気の精』へのお誘い	<ul style="list-style-type: none"> ・電気の精の概要説明や論文、子供向けへの説明などのパネルの展示
一般財団法人 電力中央研究所	鳥を守るために～風力発電所のバードストライク（風車と鳥の衝突）に関する研究紹介～	<ul style="list-style-type: none"> ・研究紹介パネルの展示 ・研究紹介タペストリーの展示 ・持ち帰り用パンフレットの紹介 ・閲覧用刊行物の配布
東京ガス株式会社	未来の都市ガス 「e-methane (e-メタン)	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料電池作動模型の展示 ・パネルの展示
日本大学 生産工学部 創生デザイン学科	社会、生活の課題解決をはかるデザイン - 学生の着眼点と創造性 -	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の研究製作成果の展示（社会や生活の課題を発見し、利用者視点で問題解決をすすめ、最終成果として美しくわかりやすく、快適な体験を提供できるアウトプットにつなげる一連のデザインプロセスを閲覧）
双葉電子工業 株式会社	最先端ホビー用ラジコン機器および産業用ドローン	<ul style="list-style-type: none"> ・ホビーラジコン用送信機 T10PX、T32MZ の展示 ・模型飛行機 SkyLeafLS48 の展示 ・産業用ドローン、カタログの配布
マブチモーター 株式会社	世界を動かす、ハートをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・マブチモーターラインナップ（実物）ケース展示 ・モーター使用事例パネルの展示 ・会社案内ビデオの上映

エ 実験・工作教室

会員が専門とする分野に関する実験や工作を、参加者体験型の方法で実施した。

実験・工作教室実施一覧 (参加人数 計 167 人)

会員名	内容	実施日	時間	対象	定員	参加人数
国立研究開発法人 量子科学技術 研究開発機構	光の不思議 色の変わるステ ンドグラス工作	7月21日	45 分	小・中学生	36	37
株式会社 Eプラン	強アルカリ電解 水の特性につい て調べてみよう	7月24日	40 分	小学 1~4年生	24	22
学校法人 千葉工業大学	てんびんのつり 合いを学んでモ ビールをつくろ う	7月30日	40 分	小学生	36	35
専門学校 千葉県 自動車大学校	エンジンをかけ てみよう!!	7月31日	45 分	未就学児 小・中学生	36	37
一般財団法人 電力中央研究所	にじいろに光る ランタンをつく ろう	8月30日	45 分	小学生	24	24
公益財団法人 かずさ DNA 研究所	DNA ってなに? ～DNA を取り出 してみよう！	8月31日	45 分	小・中学生	12	12

オ サイエンスショー

会員が専門とする分野に関する実験や工作をショー形式で実施した。

サイエンスショー実施一覧 (参加人数 計 495 人)

対象: 一般

会員名	内容	実施日	時間	参加人数
学校法人 千葉工業大学	鉄は燃えるかな？	7月30日	40分	201
出光興産株式会社 次世代技術研究所	光のマジックショー	8月2日	45分	107
キッコーマン 株式会社	ホタルの光とバイオテクノロジー	8月30日	40分	77
公益財団法人 かずさ DNA 研究所	DNA ってなに? ～DNA を見てみよう～	8月31日	40分	110

カ 講演会

身の回りに溢れている錯視について、化粧・広告・商品陳列など様々な錯視を紹介しながら、安全な生活を送るために何について注意すべきなのかということについて、多くの実例を挙げながらの講演を明治大学研究特別教授 杉原厚吉氏が講演した。

演題	内容	実施日	時間	定員	参加人数
「生活の中の錯視」	様々な錯視を紹介しながら、安全な生活を送るために何を注意すべきかについて考える。	11月16日	60分	200	107

キ 理事会・総会の開催

8月23日（金）に第1回理事会及び総会を、2月28日（金）に第2回理事会を開催した。会の内容については、9月と3月に発行した「展示・運営協力会だより」等で会員に報告した。

（2）ボランティア

当館では平成17年度から、県民参加による博物館事業の推進及び県民の生涯学習に資するために、博物館ボランティアを設置している。ボランティア登録人数、活動内容、活動件数は下記のとおりである。

プラネタリウム上映会、科学館わくわく教室、T型フォード乗車会、企画展、展示・運営協力会主催事業、フライトシミュレーター指導技量の維持、図書整理等でボランティア活動を実施した。

a 登録人数：33人

- b 活動内容：
- ・各種講座・工作教室等の準備及び指導補助
 - ・フライトシミュレーター・プラネタリウム上映会など各種イベント時における来館者の案内・誘導
 - ・図書室での図書整理、蔵書点検
 - ・博物館資料整理作業の補助（本年度は実施せず）
 - ・総会年1回開催（本年度は書面による開催に変更）
 - ・その他東邦大学教員養成課程学生の協力

c 活動件数：のべ245件

（3）地域連携等事業

ア 教育機関・学校等

（ア）県教育庁教育振興部生涯学習課千葉県夢チャレンジ体験スクール「サイエンススクール」

県教育庁教育振興部生涯学習課が実施している千葉県夢チャレンジ体験スクール「サイエンススクール」として、実施した。

a 実施日：令和6年7月25日（木）・26日（金）

b 主催：県教育庁生涯学習課

c 場所：研修室

d 内容：「回転式アニメーションをつくろう」

e 対象：小1～小3

f 定員：30人×2回=60人（25日）、30人×2回=60人（26日）

g 参加費：無料

h 参加者数：29人+27人=56人（25日）、24人+28人=52人（26日）

(イ) 教育庁教育振興部文化財課連携事業「土器ッと古代“宅配便”～勾玉をつくろう～」
教育庁教育振興部文化財課が教育普及活動の一環として実施している「土器ッと古代“宅配便”」事業に連携して、文化財課職員を講師に招き勾玉をつくる工作教室を実施した。

- a 実施日：令和6年7月7日（日）午前、午後各1回
- b 主 催：教育庁教育振興部文化財課
- c 場 所：体験学習室
- d 内 容：滑石を使用した勾玉づくり
- e 対 象：どなたでも（小学校3年生以下は保護者同伴）
- f 定 員：36人×2回=72人
- g 参加費：350円
- h 参加者数：70人（午前37人、午後33人）

(ウ) 千葉県総合教育センターカリキュラム開発部科学技術教育班「現代産業科学館で学ぶ実験実習研修」

千葉県総合教育センターカリキュラム開発部科学技術教育班が実施している県内の教職員を対象とした希望研修「現代産業科学館で学ぶ実験実習研修」として、実施した。

- a 実施日：令和6年8月1日（木）
- b 主 催：千葉県総合教育センター
- c 場 所：研修室・体験学習室
- d 内 容：「教員のためのガイドツアー」「知って得する科学館活用法講座」
- e 対 象：県内の教職員
- f 定 員：30人
- g 参加者数：31人

(エ) さわやかちば県民プラザ連携事業「ちば子ども大学」

さわやかちば県民プラザが実施している「ちば子ども大学」として実施した。

日時	内 容	場所	対象	定員	参加人数
令和6年 9月14日	「プログラミング教室 (入門編)」	研修室	小学4年生～ 中学3年生	30	12
令和6年 11月16日	「ふしぎ体験！立体錯 視アートの世界」	研修室	小学4年生～ 中学3年生	40	27

(オ) 県立市川工業高等学校連携事業

県立市川工業高等学校との連携は、インテリアデザイン同好会の製作展示から始まり、生徒自身が「ものつくりの学び」の成果を発表する場を提供する複数の連携事業を実施するに至った。今年度は、インテリアデザイン部によるクリスマス・正月装飾及び校外作品展、吹奏楽部によるクリスマス合同ライブ、インテリア科卒業制作展も開催した。

（高等学校単位認定支援事業は別掲）

実施日	内 容	場所	参加人数
令和6年 12月13日～12月25日	＜クリスマス装飾＞ タペストリー、ガーランド、モ ビール、クリスマスツリーの装飾	エントランス ホール	3,112

実施日	内 容	場所	参加 人数
令和 6 年 12 月 26 日～ 令和 7 年 1 月 19 日	<正月装飾> タペストリーの装飾	エントランス ホール	5,761
令和 6 年 12 月 20 日～ 令和 7 年 1 月 19 日	<校外作品展> 和傘アート、テクスチャーアート、フリーデザインパネル、ボーリングアート、JR 本八幡駅構内作品展示、校外作品展ポスター、その他作品の展示	エントランス ホール	7,321
令和 6 年 12 月 24 日	<クリスマス合同ライブ> 市川工業、船橋芝山高校、古和釜中学校の 3 校の吹奏楽部による演奏会を実施	企画展示室	105
令和 7 年 2 月 15 日～2 月 16 日	<卒業制作展> インテリア科 3 年生の卒業作品の展示	企画展示室	521
<課題研究発表会> 令和 7 年 2 月 16 日	<課題研究発表会> インテリア科 3 年生の課題研究の発表	サイエンス ドーム	219

(カ) 木更津工業高等専門学校連携事業「サイエンススクエア・学校説明会」

小学生・中学生を対象とする「サイエンススクエア（高専ロボコン出場ロボットの展示、ミニロボットの操縦体験、製作体験、プログラミング体験）」、市川市等の中学校教諭・中学生・保護者を対象とした学校説明会を実施した。

a 実施日：令和 6 年 7 月 6 日（土）

b 場 所：企画展示室、エントランスホール、研修室

c 参加者数：サイエンススクエア ロボット操縦体験 51 組（106 人）当日受け入れ
製作体験 26 組（52 人）当日整理券配布
プログラミング体験 19 組（35 人）当日整理券配布
学校説明会 23 組（46 人）事前予約制

(キ) 東邦大学学生ボランティア活動

平成 26 年度より東邦大学理学部生で教員養成課程を履修中の者を対象に、大学の定める実施要綱に従ってボランティア活動の受け入れを行った。

a 内 容：工作教室の準備、受付・案内、指導などイベントの運営補助

b 日 数：27 日

c 人 数：33 人

d 件 数：27 件

(ク) 市川市児童生徒科学展

市川市内小・中学校の児童・生徒の研究論文・標本・科学工夫作品を展示し、相互に作品を見学することにより、市内における自然科学教育の振興を図ることを目的として、当館と市川市教育委員会の共催事業として行った。

a 実施日：令和 6 年 9 月 7 日（土）・8 日（日）

b 主 催：市川市教育委員会 千葉県教育研究会理科教育部会市川支会

c 場 所：企画展示室

d 内 容：市川市内小・中学校児童生徒の科学展

e 参加費：無料

f 参加者数：7日 1,159人 8日 1,207人 計 2,366人

(ヶ) 五市合同技術・家庭科作品展

船橋市・市川市・習志野市・八千代市・浦安市の各中学校から選ばれた技術・家庭科各分野で入賞した作品を展示了。

a 実施日：令和7年1月16日(木)～1月23日(木)

【作品展開催日 1月17日(金)～1月22日(水)表彰式 1月22日(水)】

b 主 催：葛南地方技術教育センター 船橋市教育委員会 市川市教育委員会
習志野市教育委員会 八千代市教育委員会 浦安市教育委員会

c 後 援：千葉県教育委員会 千葉日報社

d 場 所：企画展示室、サイエンスドーム (表彰式)

e 内 容：本作品展において技術・家庭科各分野で入賞した中学生の作品展示

f 参加費：無料

g 参加者数：778人

(ㄜ) 教員のための博物館の日

博物館の利用機会が少ない学校教員に対し、広く博物館に親しむ機会を提供し「博物館活用の方策」を知らせること、及び実験・体験を中心とした授業のあり方を学ぶことを目的として、実施した。

a 実施日：令和6年7月27日(土)

b 主 催：千葉県立現代産業科学館

c 共 催：国立科学博物館、公益財団法人日本博物館協会

d 後 援：文部科学省

e 場 所：研修室、体験学習室

f 内 容：「教員のためのガイドツアー」「知って得する科学館活用法講座」

g 対 象：県内の教職員、教育行政関係者、博物館関係者、教員志望の大学生

h 定 員：20人

i 参加費：無料

j 参加者数：1人

(的带领) 県教育委員会連携事業 「公立小中学校等初任事務職員研修」

10月23日(水)に開催された、教育庁教育振興部教職員課が主催する公立小中学校等初任事務職員の研修事業に連携して、実施した。

a 実施日：令和6年10月23日(水)

b 主 催：教育庁教育振興部教職員課

c 場 所：研修室

d 内 容：常設展示での展示解説、研修室での博物館の活用に関する講座

企画展「見る」に関連した錯視を用いた工作体験

e 参加者数：25人

(シ) 県民の日中央行事

県が主催する「千葉県誕生150周年記念事業フィナーレイベント」の県立博物館・美術館わくわく体験コーナーにブースを出展し、令和6年度企画展「見る」に関連した「小さいものを見よう、測ろう、撮ろう」(ビー玉レンズルーペづくり)の実施、パネル展示などによる館の紹介、館内のパンフレット配布による広報活動を実施した。

a 実施日：令和6年6月16日(日)

b 主 催：千葉県

c 場 所：勝浦市芸術文化交流センター

d 内 容：工作体験(ビー玉レンズルーペづくり)、パネル展示による館の紹介

e 対 象：不問

f 参加費：無料

g 参加者数：134 人（見学者数 200 人）

(ア) 県産フェア連携事業

令和 6 年度は、開館 30 周年記念イベントと重複したため、事業を実施しなかった。

(イ) 大学連携博物館教育利用実習

a 実施日：令和 6 年 5 月 11 日（土）

b 講 師：秀明大学学校教師学部 牛島薰教授

c 場 所：研修室

d 内 容：教育学講座の「理科教材研究」における科学館の利用方法に関し、「博学連携の実際」・「展示見学」の各内容について協力

e 参加者数：18 人

(ウ) 市川市適応指導教室「ふれんどルーム市川」連携事業

令和 5 年度より、市川市適応指導教室「ふれんどルーム市川」と連携して、不登校の児童生徒を対象に工作教室を行った。 (参加人数 計 85 人)

実施日	内容	参加人数
7 月 3 日（水）	工作教室（スノードーム）	18
10 月 4 日（金）	プログラミング教室（マタタラボ）	17
10 月 25 日（金）	プログラミング教室（マタタラボ）	17
11 月 15 日（金）	プログラミング教室（マタタラボ）	13
2 月 19 日（水）	工作教室（風と遊べる凧）	20

イ NPO 法人との連携事業

(ア) くらしとバイオプラザ 21 連携事業

くらしとバイオプラザ 21 と連携し、実施した。

A 「親子バイオ入門実験教室」

a 実施日：令和 6 年 7 月 13 日（土）

b 場 所：体験学習室

c 内 容：事前申込みの親子を対象に、タマネギから細胞を採取し、顕微鏡で細胞を観察する実験とブロッコリー・バナナ・トリひき肉・トウモロコシ・コマツナから DNA を抽出し観察する実験を行った。

d 参加費：300 円

e 定 員：12 組 24 人

f 参加者数：11 組 25 人

B 「親子バイオ実験教室 ～カラーマジックケーキをつくろう～」

a 実施日：令和 6 年 10 月 6 日（日）

b 場 所：体験学習室

c 内 容：カップケーキを作りながら、ブルーベリーやレモンによる食品の色の変化を通して酸性・アルカリ性のしくみを学習した。また、カップケーキの焼成時間中に紫芋から抽出した液を試験管に入れ、そこに重曹やレモン汁、粉石けん等を加えて色の変化と PH の値を調べる実験を行い酸性・アルカリ性について学習した。

d 参加費：350 円

e 定 員：48 人

f 参加者数：46 人

ウ 地域企業等との連携事業

(ア) 第19回いちかわ産フェスタ～リスタート～

市川商工会議所と協力して、商業、工業、農業、漁業等市内の各業者が出店と展示を行い、市内の産業を紹介するイベントを開催した。テクノモール、プレイモール、ショッピングモールの3つのエリアでは、特色のある展示や発表、実演体験、販売で大変賑わった。

a 実施日：令和7年3月15日（土）

b 主 催：市川商工会議所、いちかわ産フェスタ運営委員会

c 場 所：サイエンスドーム、企画展示室、サイエンス広場、エントランスホール、当館駐車場

d 内 容：商業、工業、農業、漁業等の市内各業者が市内の産業を紹介、展示、発表実演体験、販売

e 参加者：約14,500人（館入場者4,175人）

(イ) 産業学習 in 科学館

A 「たんけん!!ミライ～TechnologyでEcologyをEconomyに～」

a 実施日：令和6年5月19日（日）

b 共 催：株式会社モノベエンジニアリング

c 場 所：サイエンスドーム サイエンス広場

d 内 容：ろ過についての仕組みを動画で視聴、クイズや質問コーナーを通しての交流、サイエンス広場での体験会

e 参加者数：106人

B 「たんけん!!ミライ～日本と世界につながる海底ケーブルの秘密～」

a 実施日：令和7年2月2日（日）

b 共 催：KDDI 株式会社

c 場 所：サイエンスドーム 企画展示室

d 内 容：海底ケーブルの仕組みについての動画視聴、クイズや質問コーナーを通しての交流、パネルや船の模型、映像資料の展示

e 参加者数：162人

(ウ) 三者連携事業「おにたかとらい」

A 30周年記念イベント 絵本の読み聞かせ「みんなのおたんじょう日」

a 実施日：令和6年6月23日（日）

b 主 催：市川市中央図書館、千葉県立現代産業科学館

c 担 当：こどもとしょかん司書

d 場 所：千葉県立現代産業科学館 図書室

e 内 容：開館30周年に関連して、誕生日をテーマにした絵本の読み聞かせ

f 参加人数：33名

B 30周年記念イベント BM車（自動車図書館）の展示「自動車図書館がやってくる！in 現代産業科学館」

a 実施日：令和6年6月23日（日）

b 主 催：市川市中央図書館、千葉県立現代産業科学館

c 担 当：こどもとしょかん司書

d 場 所：サイエンス広場

e 内 容：市川市の自動車図書館「みどり号」の設置

（雨天の為、本の貸し出しが実施せず車輌の展示のみ実施）

C 30周年記念イベント こどもとしょかん「関連図書の展示」

市川市生涯学習センター(市川メディアパーク)内のこどもとしょかんで、30周年記念にあわせた誕生日にかかる「関連図書の展示」を行った。

a 実施日：令和6年6月14日（金）～令和6年6月30日（日）

b 主 催：市川市中央図書館

c 場 所：こどもとしょかん

d 内 容：30周年記念にあわせた誕生日にかかる関連図書の展示

D 30周年記念イベント 30周年記念展示

a 実施日：令和6年6月14日（金）～令和6年6月30日（日）

b 主 催：ニッケコルトンプラザ

c 場 所：ニッケコルトンプラザ

d 内 容：開館30周年記念イベントのポスター、当館を紹介するポスターを展示

E 出張 科学館わくわく教室

a 実施日：令和6年7月14日（日）

b 場 所：ニッケコルトンプラザ 2階タワーコート

c 内 容：「色つきスライムをつくろう」

PVAのり、お湯、ホウ砂水溶液、食紅を使用し、混ぜ合わせて色つきスライムを製作

d 費 用：コルトンプラザ負担

e 定 員：150人（30人×5回）

f 参加者数：150人

F プラネタリウム関連本の紹介

a 実施日：令和6年7月17日（水）～令和6年7月31日（水）

b 主 催：市川市中央図書館、ニッケコルトンプラザ、千葉県立現代産業科学館

c 場 所：市川市中央図書館、ニッケコルトンプラザ内有隣堂書店

d 内 容：プラネタリウム関連テナント協力及びプラネタリウム関連本の紹介

G 読み聞かせ「宇宙と星の世界をたのしもう」

a 実施日：令和6年8月8日（木）

b 主 催：市川市中央図書館・千葉県立現代産業科学館

c 場 所：千葉県立現代産業科学館 図書室

d 内 容：市川市中央図書館（こどもとしょかん）職員2名を招致し、宇宙や星に関する本の読み聞かせ

e 参加者数：26人

H 「見る」っていろいろ

a 実施日：令和6年10月19日（土）

b 主 催：市川市中央図書館、千葉県立現代産業科学館

c 場 所：市川市中央図書館、千葉県立現代産業科学館 図書室

d 内 容：企画展「見る」に関する絵本の読み聞かせ
科学館に移動しての展示の見学

e 参加者数：27人

I 企画展「見る」関連本紹介コーナー

a 実施日：令和6年11月1日（金）～令和6年12月1日（日）

b 主 催：市川市中央図書館、千葉県立現代産業科学館

c 場 所：市川市中央図書館

d 内 容：当館職員が企画展「見る」に関連したPOPを作成し、市川市中央図書館内にPOPの展示協力

J 読み聞かせ「ふゆの世界をたのしもう」

- a 実施日：令和6年12月15日（日）
- b 主 催：市川市中央図書館、千葉県立現代産業科学館
- c 場 所：千葉県立現代産業科学館 図書室
- d 内 容：市川市中央図書館（こどもとしょかん）職員2名を招致し、冬にまつわる子ども向けの本の読み聞かせ
- e 参加者数：30人

K カガクへのとびら

- a 実施日：令和7年1月25日（土）
- b 主 催：市川市中央図書館、千葉県立現代産業科学館
- c 場 所：市川市中央図書館内 中央こども館
- d 内 容：演示実験及びふしぎのたね・飛ぶたね等の作成
- e 対 象：未就学児とその保護者
- f 参加者数：51人

L 「おにたかとらい」からの挑戦状

- a 実施日：令和7年2月22日（土）
- b 主 催：市川市中央図書館・千葉県立現代産業科学館・ニッケコルトンプラザ
- c 場 所：市川市中央図書館・千葉県立現代産業科学館・ニッケコルトンプラザ
- d 内 容：3施設に隠された文字を探し出し、合言葉「おにたかとらい」を完成させるスタンプレー（スタンプを3つそろえる条件を達成した参加者に、オリジナルグッズをプレゼント）
- e 参加者数：279人

（才）産業キャリアイメージ形成支援事業

- A プラネタリウムという仕事について
- a 実施日：令和6年8月7日（水）
 - b 主 催：千葉県立現代産業科学館
 - c 共 催：有限会社大平技研
 - d 場 所：千葉県立現代産業科学館サイエンスドーム
 - e 内 容：プラネタリウム上映会内覧会に合わせて、有限会社大平技研よりプラネタリウムという仕事についての講演・解説
プラネタリウムを仕事にする上で大事にしていることや就学・進学についてのアドバイスをいただいた。
 - f 参加者数：市川中学校・高等学校13名、昭和学院秀英中学校・高等学校20名

B 進路選択サポートセミナー

- a 実施日：令和6年9月7日（土）
- b 主 催：千葉県子どもと親のサポートセンター
- c 共 催：ソフトバンク株式会社
- d 場 所：千葉県総合教育センター
- e 内 容：講師として参加者に講演（中学卒業後の進路選択や、当館で昨年度実施した院内学級や適応指導教室で行ったプログラミング講座）を実施
- f 対 象：不登校の中学生やその保護者

C 「京葉工業地域や千葉県の産業の歴史」について（講義）

- a 実施日：令和6年9月19日（木）
- b 主 催：千葉県立佐原高等学校
- c 共 催：ソフトバンク株式会社
- d 場 所：千葉県立佐原高等学校

e 内 容：STEAM 教育特別授業として「京葉工業地域や千葉県の産業の歴史」についての講義

1 京葉工業の歴史を明治時代から現在に至るまでの発展について

2 現代産業と合わせてプログラミングの体験

f 参加者数：千葉県立佐原高等学校 高校1年生 37名

D ケイタイ電話のナカをみてみよう（※ 科学館わくわく教室として実施）

a 実施日：令和6年9月23日（月・祝）

b 主 催：千葉県立現代産業科学館

c 共 催：ソフトバンク株式会社

d 場 所：研修室

e 内 容：産業の発展による都市鉱山からレアメタルを採取することで、SDGsに
関連付けることをねらいとした携帯電話（ガラパゴス携帯）の分解

f 対象者：小・中学生

g 参加費：50円

h 定 員：75人（15人×5回）

i 参加者数：100人

E 職業講話

a 実施日：令和6年12月6日（金）

b 主 催：市川市立鬼高小学校

c 場 所：市川市立鬼高小学校

d 内 容：職業講話の講演

e 参加者数：市川市立鬼高小学校 小学校6年生 120名

F 企業見学会

a 実施日：令和7年3月6日（木）事前学習

令和7年3月7日（金）14日（金）企業見学会

b 主 催：市川市立大洲中学校

c 共 催：ソフトバンク株式会社

d 場 所：ソフトバンク株式会社竹芝本社ビル

e 内 容：携帯電話（ガラパゴス携帯）の分解教室（事前指導）

ソフトバンク株式会社竹芝本社ビルへの企業見学（会社説明等）

f 参加者数：市川市立大洲中学校 中学校1年生 135名

エ 諸機関との連携事業

(ア) 第46回少年少女発明クラブ作品展

千葉県内7か所に設置されている少年少女発明クラブによる作品展及び担当による工作教室を1日目に「シーティングマシーン」、2日目に「偏光フィルムを使ったステンドグラス」を開催した。今年度は優秀作品制作者に対する表彰式も実施した。

a 実施日：令和7年1月25日（土）・1月26日（日）

b 主 催：一般社団法人千葉県発明協会

c 共 催：千葉県

d 後 援：千葉県教育委員会、NHK千葉放送局、千葉テレビ放送株式会社
株式会社千葉日報社

e 協 賛：公益財団法人双葉電子記念財団

f 場 所：企画展示室・サイエンスドーム

g 内 容：少年少女発明クラブによる作品展示・工作教室・表彰式

h 参加者数：762人

7 開館 30 周年記念事業

(1) 記念展示

ア 開催期間：令和 6 年 6 月 14 日（金）～6 月 30 日（日）

イ 趣 旨：現代産業科学館が令和 6 年 6 月 15 日に開館から 30 周年を迎えることを記念して、県民や関係機関、展示協力者とこれまでの歩みを展示や収蔵資料等と振り返るとともに、多くの来館者が楽しめるイベントを開催した。あわせて秋に開催する令和 6 年度企画展「見る」のプレ展示を行い、展示のテーマについて広く知ってもらう機会とした。

ウ 展示内容：開館から現在を年ごとに振り返るパネル・収蔵資料・歴代企画展示ポスター等、ポスターをニッケコルトンプラザに展示、企画展「見る」プレ展示（特設コーナー）、産業関連資料展示（サイエンスドームギャラリー）

エ 入場者数：8,003 人

(2) 記念イベント

ア T型フォード記念撮影会

動態保存している 1919 年製 T 型フォードの座席に座って撮影会を行うことで、来館者に当時の技術や文化のすばらしさを体験させるとともに石油産業・自動車産業の発展の歴史を知る機会とした。

a 日 時：令和 6 年 6 月 22 日（土）・23 日（日）

b 場 所：エントランスホール

c 内 容：動態保存している 1919 年製 T 型フォードの座席に座っての撮影会

d 参加者数：813 人（22 日 260 人、23 日 553 人）

イ スーパーサイエンスステージ

実験シアターで行っている、液体窒素を使用した超低温の冷凍実験と超電導現象に関する実験を、内容を工夫し拡大して実施した。

a 日 時：令和 6 年 6 月 23 日（日）

b 場 所：サイエンスステージ

c 内 容：毎日、実験シアターで行っている液体窒素を使用した超低温の冷凍実験及び超電導現象に関する実験を拡大して実施

d 参加者数：121 人

ウ 科学館わくわく教室

開館 30 周年記念事業として、未就学児および小・中学生の科学に関する興味・関心を高めるため、無料で工作教室を行った。

a 日 時：令和 6 年 6 月 22 日（土）・23 日（日）

b 場 所：当館エスカレーター下

c 内 容：「とぶ筒をつくろう」「ビー玉けんぴきょうをつくろう」「ふしぎなステンドグラスをつくろう」の工作教室を実施

d 参加費：無料

e 定 員：22 日（土） 各工作とも各回 9 人 5 回実施 ※ 当日先着受付
23 日（日） 各工作とも各回 9 人 5 回実施 ※ 当日先着受付

f 参加者数：243 人（22 日 135 人、23 日 108 人）

エ たんけん！！科学館

a 日 時：令和 6 年 6 月 22 日（土）・23 日（日）

b 場 所：企画展示室（受付）

- c 内 容：「初級」「中級」「上級」の展示に関するクイズを準備し、常設展示にまつわるクイズを解いて巡るクイズラリーを実施。参加者にはお土産として回転式アニメーション作成キットを配付
- d 定 員：22日(土) 各回30人 4回実施 ※ 当日先着受付
23日(日) 各回30人 3回実施 ※ 当日先着受付
- e 参加者数：241人 (22日75人、23日166人)

オ 特別解説ツアー

- a 日 時：令和6年6月22日(土)・23日(日)
- b 場 所：千葉県立現代産業科学館 常設展示
- c 内 容：展示解説員による常設展示「現代産業の歴史」「先端技術への招待」「創造の広場」の解説を1回20分程度で実施
- d 定 員：22日(土) 各回10組程度 3回実施 ※ 事前申込
23日(日) 各回10組程度 3回実施 ※ 事前申込
- e 参加者数：19人 (22日4人、23日15人)

カ 読み聞かせ「みんなのおたんじょう日」

- a 日 時：6月23日(日)
- b 場 所：現代産業科学館 図書室
- c 内 容：開館30周年に関連して、誕生日をテーマにした絵本の読み聞かせ
- d 参加者数：33人

キ 巨大カプセルトイ(スタンプラリー)

- a 日 時：令和6年6月22日(土)・23日(日)
- b 場 所：企画展示室(受付)
- c 内 容：ミッションカード(スタンプカード)をもち、各ミッションをクリアしたら、スタンプを押印。7つのミッションのうち5つクリアできたら、エントランスホールに設置されている巨大カプセルトイを回せる。30周年記念オリジナル缶バッジ(3種)をプレゼント
- d 定 員：22日(土) 各回30人 4回実施 ※ 当日先着受付
23日(日) 各回30人 3回実施 ※ 当日先着受付
- e 参加者数：のべ800人

(3) 記念セレモニー

- a 実施日：令和6年6月23日(日)
- b 趣 旨：現代産業科学館が令和6年6月15日に開館30周年を迎えることを記念して、「現代産業科学館開館30周年記念イベントーみなさまと共に歩む科学館ー」(会期6/14~6/30)を開催するのに合わせ、記念セレモニーを開催した。
- c 場 所：エントランスホール
- d 内 容：主催者挨拶、来賓挨拶及び紹介、くす玉開き、記念写真撮影
- e 出席者：知事、千葉県議会議員、本府関係者、展示・運営協力会会長
展示・運営協力会理事、展示・運営協力会関係者、市川市長
教育庁・市川市関係者・近隣施設関係者、博物館関係者、報道機関
友の会関係者、一般来館者

8 その他

(1) サイエンスドームの利用状況

実施日	曜	事業名（内容）	参加者数	関連団体・機関及び委託業者
5月19日	日	産業学習in科学館「たんけん!!ミライ」～TechnologyでEcologyをEconomyに～	106	株式会社モノベエンジニアリング
8月7日	水	プラネタリウム上映会内覧会	105	有限会社大平技研
		産業キャリアイメージ形成支援事業	33	市川学園市川中学校・高等学校 昭和学院秀英中学校・高等学校
8月9日～29日	金木	プラネタリウム上映会	12, 108	有限会社大平技研
11月16日	土	千葉県立現代産業科学館 展示・運営協力会 講演会「生活の中の錯視」	107	千葉県立現代産業科学館 展示・運営協力会
1月22日	水	五市合同技術・家庭科作品展 表彰式	-	葛南地方技術教育センター 船橋市・市川市・習志野市・八千代市・浦安市各教育委員会
1月25日	土	第46回千葉県少年少女発明クラブ展 表彰式	-	千葉県発明協会
2月2日	日	産業学習 in 科学館「たんけん!!ミライ」～日本と世界をつなぐ海底ケーブルのひみつ～	162	KDDI株式会社
2月16日	日	市川工業高等学校インテリア科課題研究発表会	219	県立市川工業高等学校 インテリアデザイン科
3月15日	土	第19回いちかわ産フェスタ オープニングセレモニー	123	市川商工会議所 いちかわ産フェスタ実行委員会

(2) 県庁下水道課「マンホールカード」配付協力

県150周年記念事業の一環で製作されたマンホール設置場所が市川市であるということから、当館での配付が決定し、令和5年12月15日（金）からマンホールカードの配付を開始している。

チーバくんが描かれた第21弾「千葉県誕生150周年記念マンホールカード」は、配付開始時から今年度3月末までに13,542枚を配付した。県庁下水道課からの依頼を受け、今後も配付協力を継続していく。

資料

入館狀況

年間別入館者数

年度	個人入館者(人)					団体入館者(人)					年度計(人)	累計(人)	開館日数(日)	1日平均入館者数(人)	
	一般成人	高大学生	小中学生	学齢前児童	65歳以上障害者	計	一般成人	高大学生	小中学生	学齢前児童	65歳以上障害者				
平成6年度	102,344	5,742	78,466			186,552	18,311	2,739	12,591			33,641	220,193	241	
平成7年度	139,143	4,980	115,084			259,507	19,315	2,470	23,142			44,927	304,434	524,627	
平成8年度	154,944	3,354	127,519			285,817	14,055	1,827	23,356			39,238	325,035	849,682	
平成9年度	162,274	2,474	124,765			289,513	11,052	1,941	24,062			37,055	326,588	1,176,250	
平成10年度	166,272	2,657	127,181			296,110	10,430	1,713	21,580			33,723	329,833	1,506,083	
平成11年度	179,685	4,177	130,997			314,859	9,789	1,543	21,759			33,091	347,950	1,854,033	
平成12年度	168,109	3,239	136,301			307,649	10,641	1,535	20,193			32,369	340,018	2,194,051	
平成13年度	171,633	3,053	139,460			314,146	8,732	1,212	19,049			28,993	343,139	2,537,190	
平成14年度	200,158	3,296	104,590	20,718		328,762	7,210	1,360	16,800	2,004		27,374	356,136	2,893,326	
平成15年度	197,504	2,779	95,592	21,009		316,884	7,396	1,650	17,301	1,733		28,080	344,964	3,238,290	
平成16年度	101,876	1,726	27,146	9,576	1,840	1,086	143,250	3,218	923	10,050	1,558	641	944	17,334	160,584
平成17年度	114,674	2,277	29,986	9,910	2,350	1,900	161,097	2,434	349	9,539	1,090	633	626	14,671	175,768
平成18年度	109,284	1,447	22,501	7,133	2,247	1,704	144,316	2,033	527	9,150	1,365	529	901	14,505	158,821
平成19年度	121,1107	1,457	24,793	7,605	2,257	1,836	159,055	1,857	489	6,933	1,003	440	781	11,503	170,558
平成20年度	141,865	1,787	27,624	8,566	3,768	2,304	185,914	4,116	608	6,988	1,778	216	737	14,443	200,357
平成21年度	126,903	1,338	22,082	6,583	2,839	1,741	161,486	2,005	162	8,389	1,273	461	956	13,226	174,712
平成22年度	112,571	1,135	20,169	6,062	2,367	1,807	144,111	1,507	287	6,582	1,299	519	1,099	11,303	155,414
平成23年度	123,794	1,375	23,479	7,694	4,492	2,286	163,120	2,379	204	9,191	1,702	467	976	14,919	178,039
平成24年度	115,800	755	21,336	7,166	2,501	1,879	149,437	1,882	215	7,378	1,883	513	574	12,445	161,882
平成25年度	109,867	868	23,345	8,221	3,275	2,345	147,921	1,923	609	7,460	1,626	780	1,048	13,446	161,367
平成26年度	138,751	2,015	24,320	8,913	5,003	2,788	181,790	1,879	607	7,545	2,556	633	798	14,018	195,808
平成27年度	103,733	1,200	21,730	9,222	3,415	3,431	142,731	1,509	453	6,112	1,291	293	498	10,156	152,887
平成28年度	109,428	1,024	25,359	12,191	4,512	4,548	157,062	1,732	218	7,324	1,968	582	892	12,716	169,778
平成29年度	114,857	994	23,796	11,582	4,247	4,259	159,735	1,792	643	6,777	2,474	397	1,345	13,428	173,163
平成30年度	104,121	990	23,102	12,701	4,640	4,407	149,961	2,151	578	9,099	2,218	324	1,569	15,939	165,900
令和元年度	77,954	665	117,943	10,808	3,717	4,590	115,677	1,897	493	7,625	1,973	382	772	13,142	128,819
令和2年度	13,139	158	1,763	1,183	390	424	17,057	0	0	0	0	0	0	17,057	5,939,204
令和3年度	26,198	495	5,979	4,685	1,005	786	39,148	40	73	69	96	0	20	298	39,446
令和4年度	52,900	873	14,855	9,843	2,648	1,542	82,661	982	216	4,416	1,207	70	308	7,199	89,860
令和5年度	77,678	1,231	18,627	14,211	4,318	2,599	118,664	1,389	173	7,551	1,672	452	591	11,828	130,462
令和6年度	84,977	1,061	18,576	16,910	4,388	4,501	130,413	1,534	150	8,401	2,324	314	868	13,591	144,004
合計	3,723,843	60,622	1,618,466	232,492	66,219	52,763	5,754,405	155,190	25,967	346,402	36,093	8,646	16,303	588,601	6,343,006
														9,259	685

団体内訳

区分内訳

(団体数)

年度	一般成人	高大学生	小中学生	学齢前児童	65歳以上	障害者	計
平成6年度	571	27	262				860
平成7年度	536	41	441				1018
平成8年度	351	36	408				795
平成9年度	314	38	404				756
平成10年度	247	30	404				681
平成11年度	252	37	409				698
平成12年度	260	32	367				659
平成13年度	249	26	426				701
平成14年度	194	38	393	50			675
平成15年度	183	41	356	41			621
平成16年度	67	34	225	56	23	38	463
平成17年度	34	9	178	29	19	23	292
平成18年度	19	14	185	35	20	50	323
平成19年度	21	8	139	27	16	42	253
平成20年度	30	15	140	45	9	33	272
平成21年度	49	9	145	39	9	56	307
平成22年度	25	14	122	36	10	64	271
平成23年度	40	12	180	46	12	63	353
平成24年度	21	14	142	39	18	39	273
平成25年度	16	10	155	39	31	65	316
平成26年度	18	10	157	57	29	48	319
平成27年度	11	10	113	47	7	32	220
平成28年度	14	10	122	56	21	53	276
平成29年度	28	12	129	60	15	68	312
平成30年度	17	13	147	56	13	130	376
令和元年度	25	11	139	56	12	60	303
令和2年度	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度	0	3	2	5	0	2	12
令和4年度	17	7	68	55	1	20	168
令和5年度	37	6	112	70	24	59	308
令和6年度	10	3	155	89	14	51	322
合計	3,656	570	6,625	1,033	303	1,016	13,203

(人)

区分	区分			計	
	個人				
	団体				
	一般成人	高・大生	小・中学生		
一般成人				3,842,825	
高・大生				60,622	
小・中学生				1,850,958	
計				382,495	
				2,233,453	
				35,21%	

千葉県立現代産業科学館 年報（令和6年度版）
令和7年（2025年）12月 発行

編集・発行
千葉県立現代産業科学館
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1丁目1番3号
TEL 047-379-2000
FAX 047-379-2221